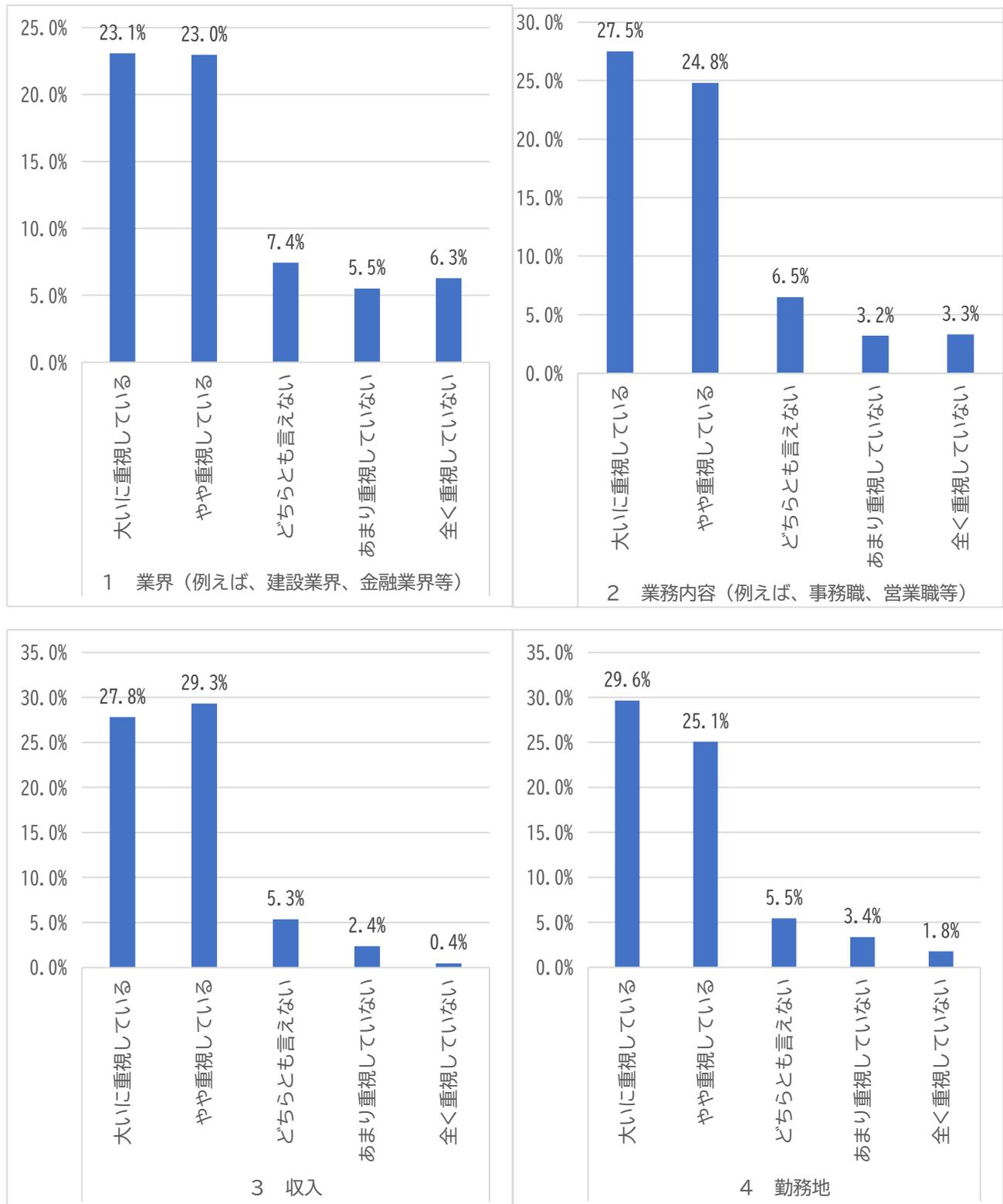
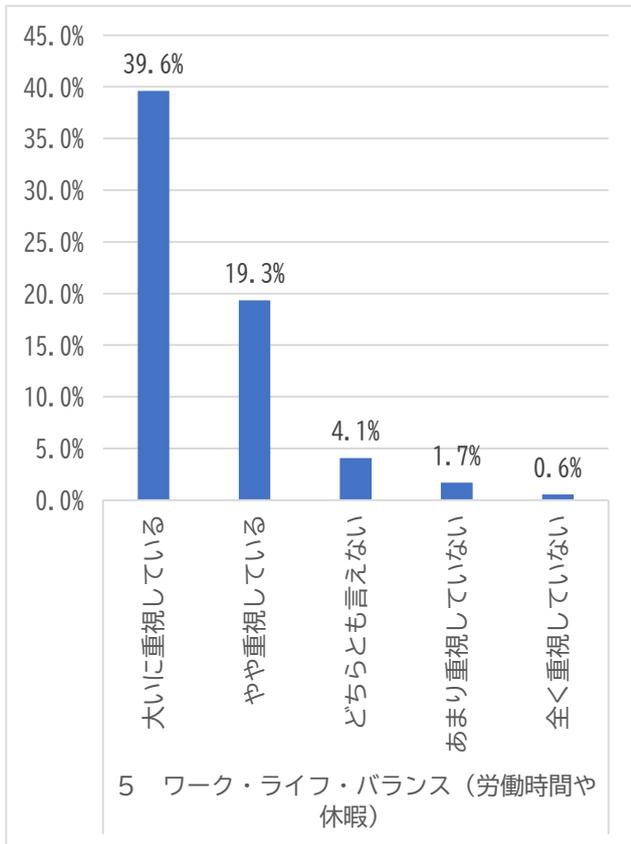


Ⅲ 調査結果（大学生等対象）

1. 将来の就業に際して重視する点

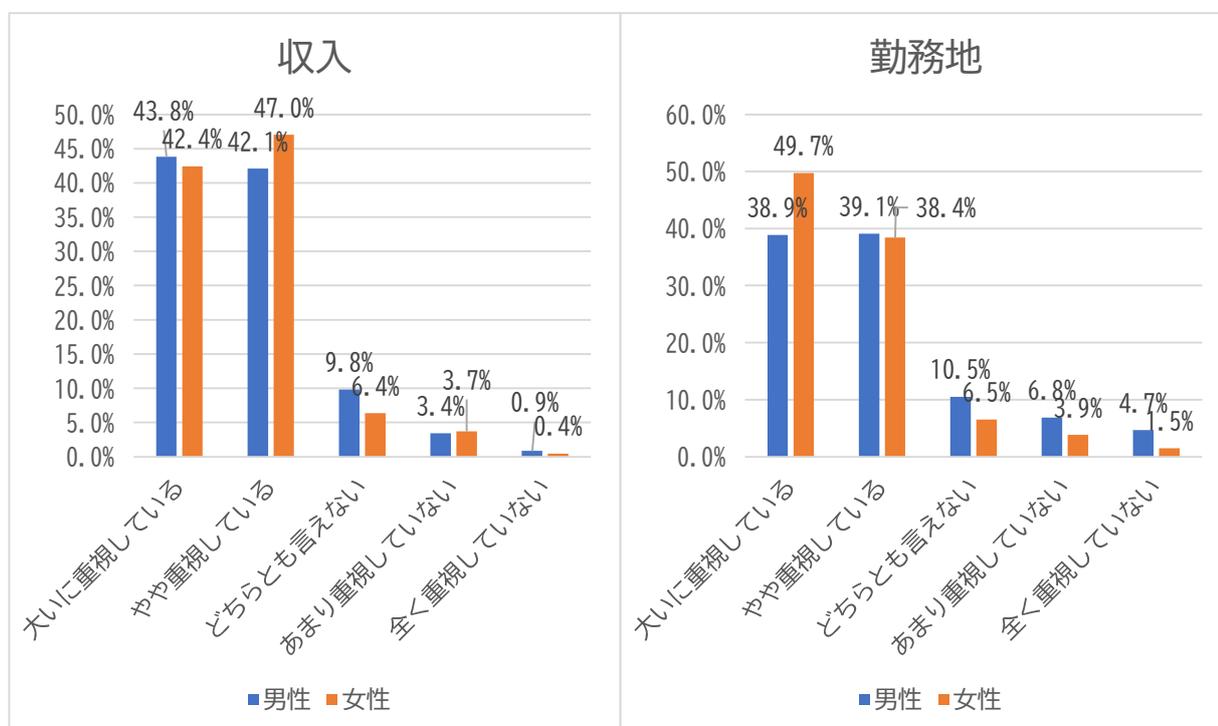
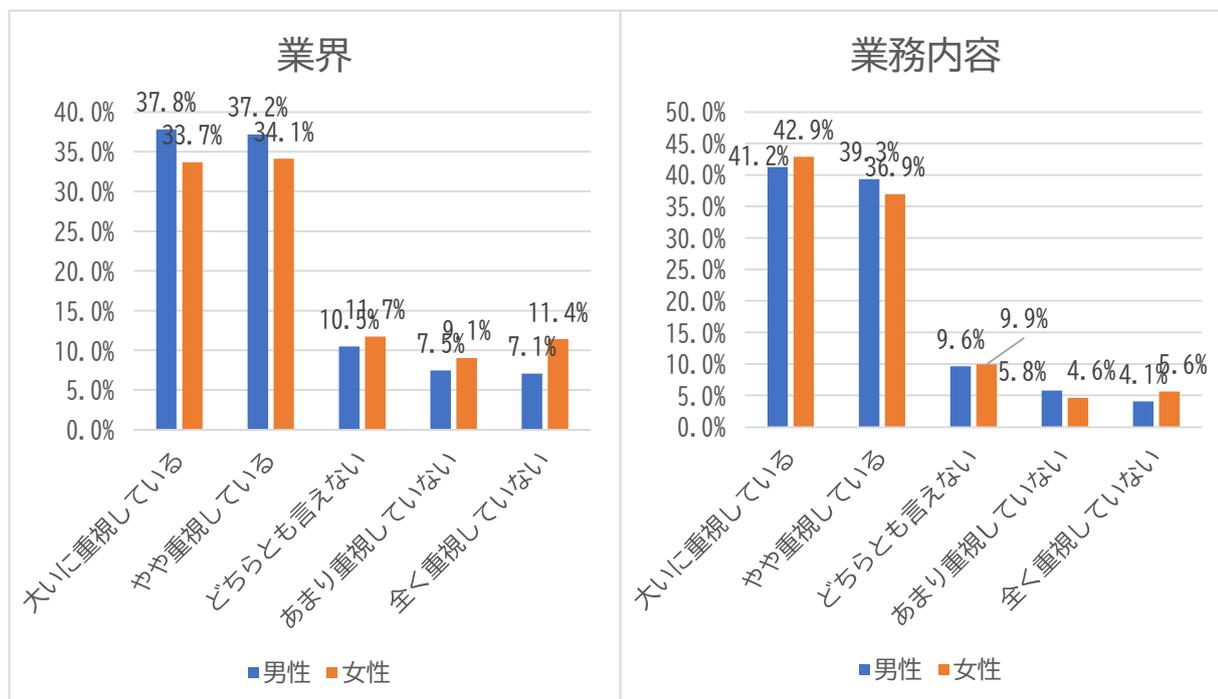
大学生等が就業先を選択するときに重視する点について、ワーク・ライフ・バランスを大いに重視していると答えている学生が多い。



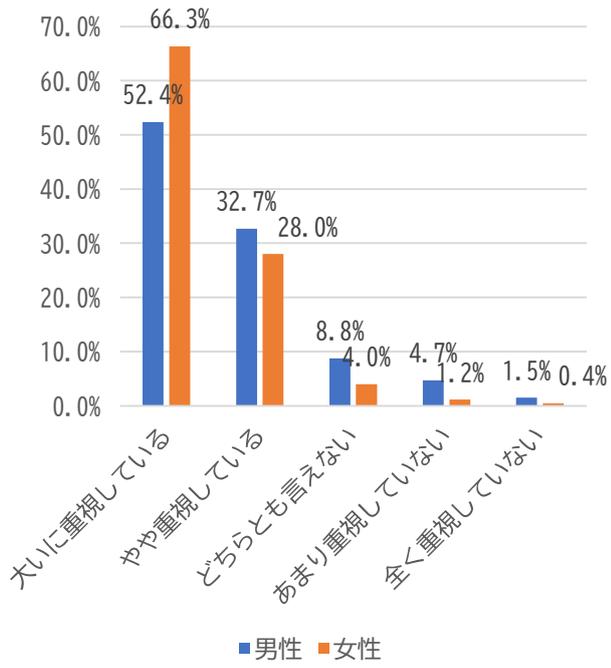


男女別にみると、「勤務地」について、「大いに重視している」と「やや重視している」が男性ではほぼ同数である一方、女性では「大いに重視している」との回答が多く性別で回答内容の特徴が異なる。

なお、ワーク・ライフ・バランスについては、男女共通で「大いに重視している」との回答が多い。



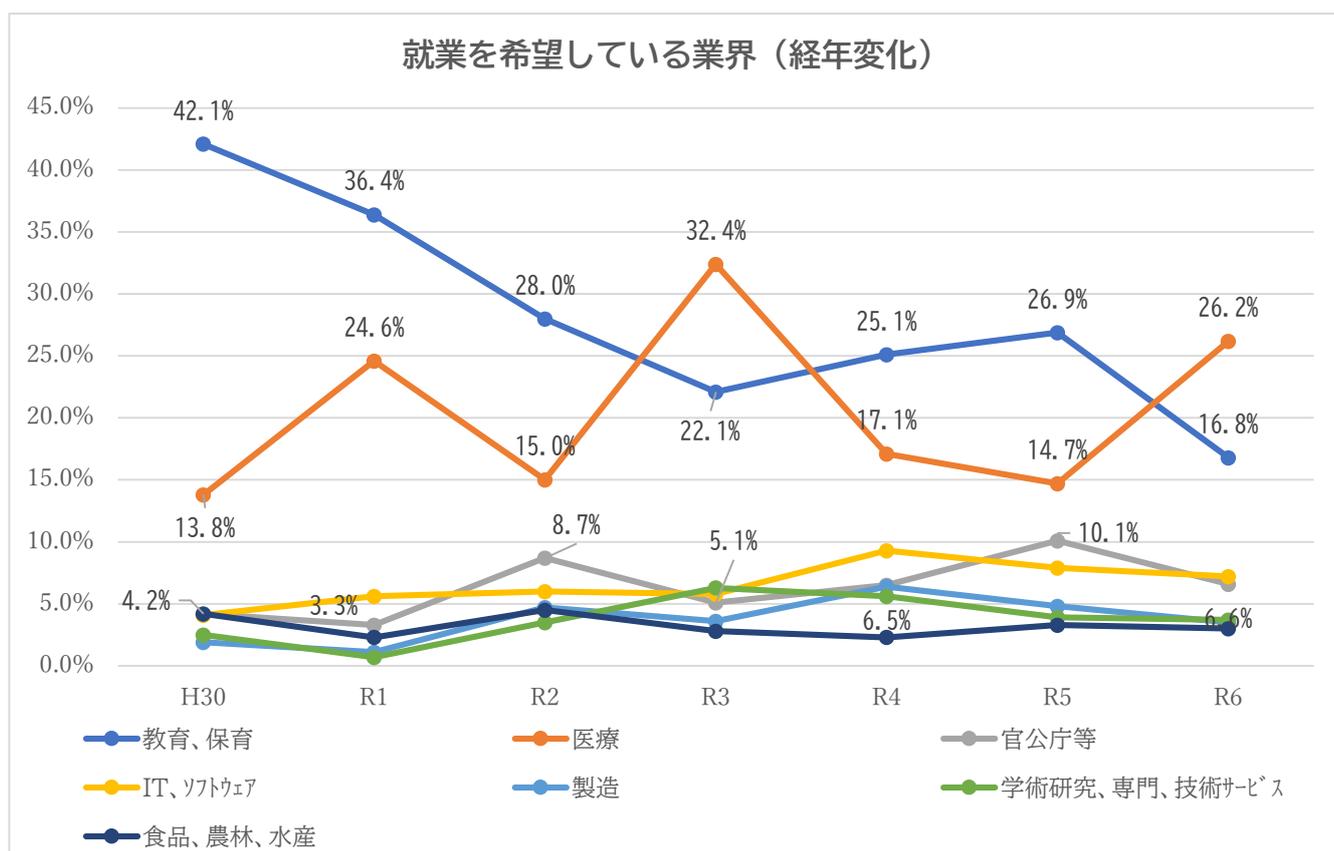
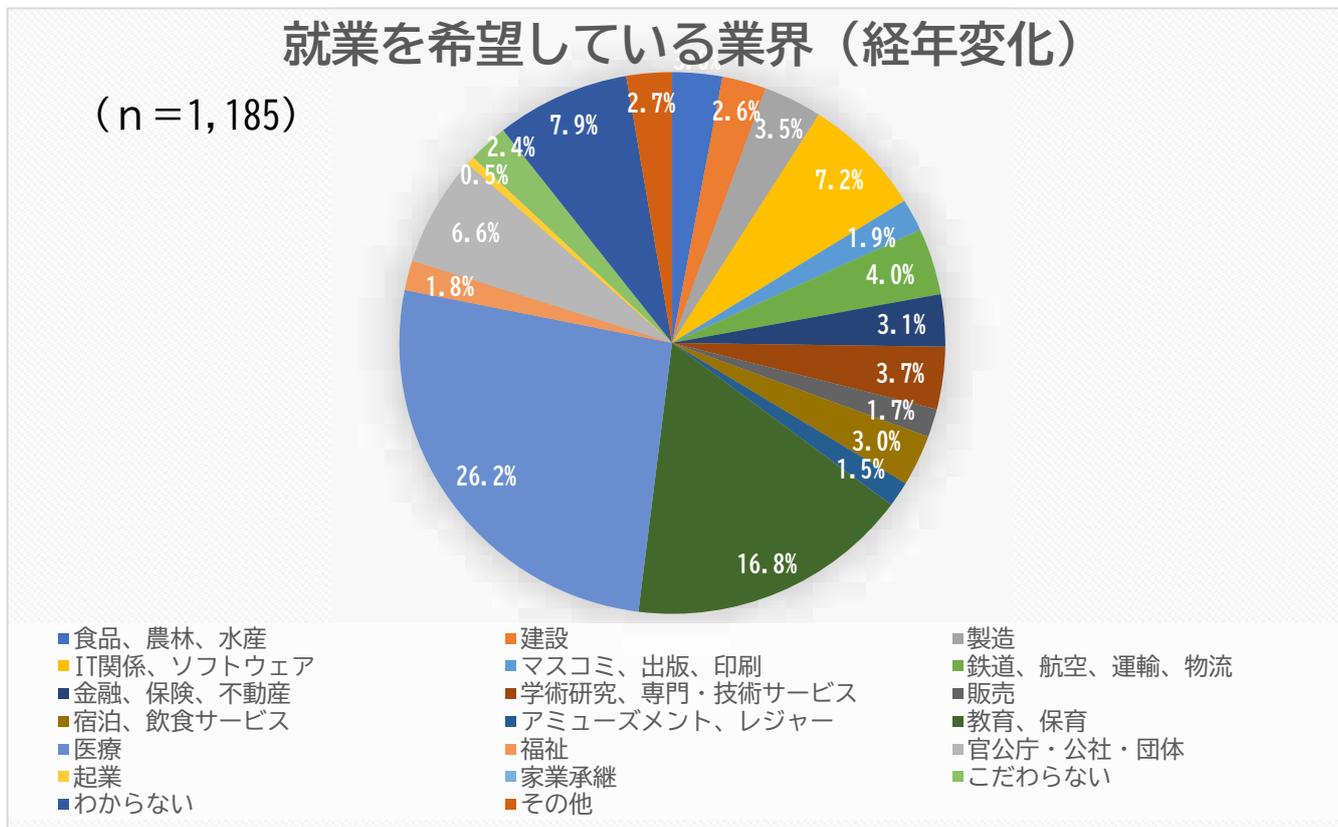
ワーク・ライフ・バランス



2. 将来の就業に関する希望について

(1) 就業を希望している業界

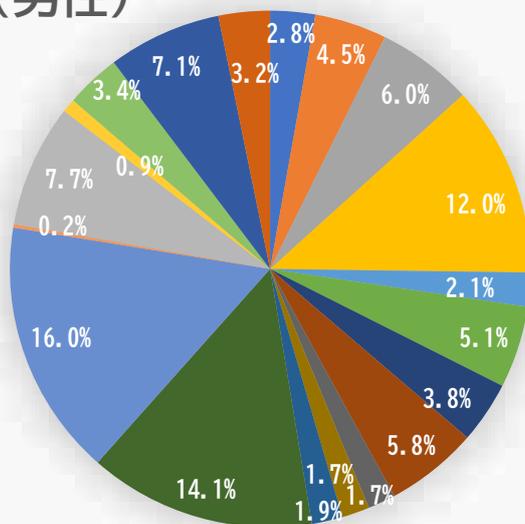
大学生等が就業を希望している業界としては、「医療」が最も多く、26.2%になっており、「教育」が16.8%となっている。また、経年変化をみると、昨年度と比べ「医療」が大きく増え、「教育、保育」が減っていることが分かる。



男女別で見ると、男性は「医療」が16.0%と最も大きく、次いで、「教育」「IT関係・ソフトウェア」となっている。一方、女性も「医療」が33.1%と最も大きく、「教育」「IT関係・ソフトウェア」と男性と同じ順位となっている。

就職希望業界（男性）

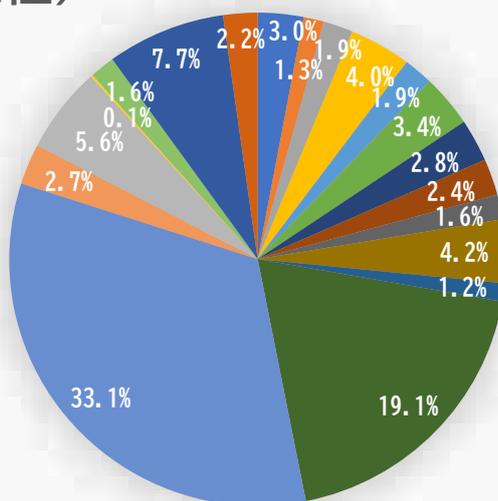
(n=468)



- | | | |
|---------------|------------------|---------------|
| ■ 食品、農林、水産 | ■ 建設 | ■ 製造 |
| ■ IT関係、ソフトウェア | ■ マスコミ、出版、印刷 | ■ 鉄道、航空、運輸、物流 |
| ■ 金融、保険、不動産 | ■ 学術研究、専門・技術サービス | ■ 販売 |
| ■ 宿泊、飲食サービス | ■ アミューズメント、レジャー | ■ 教育、保育 |
| ■ 医療 | ■ 福祉 | ■ 官公庁・公社・団体 |
| ■ 起業 | ■ 家業承継 | ■ こだわらない |
| ■ わからない | ■ その他 | |

就職希望業界（女性）

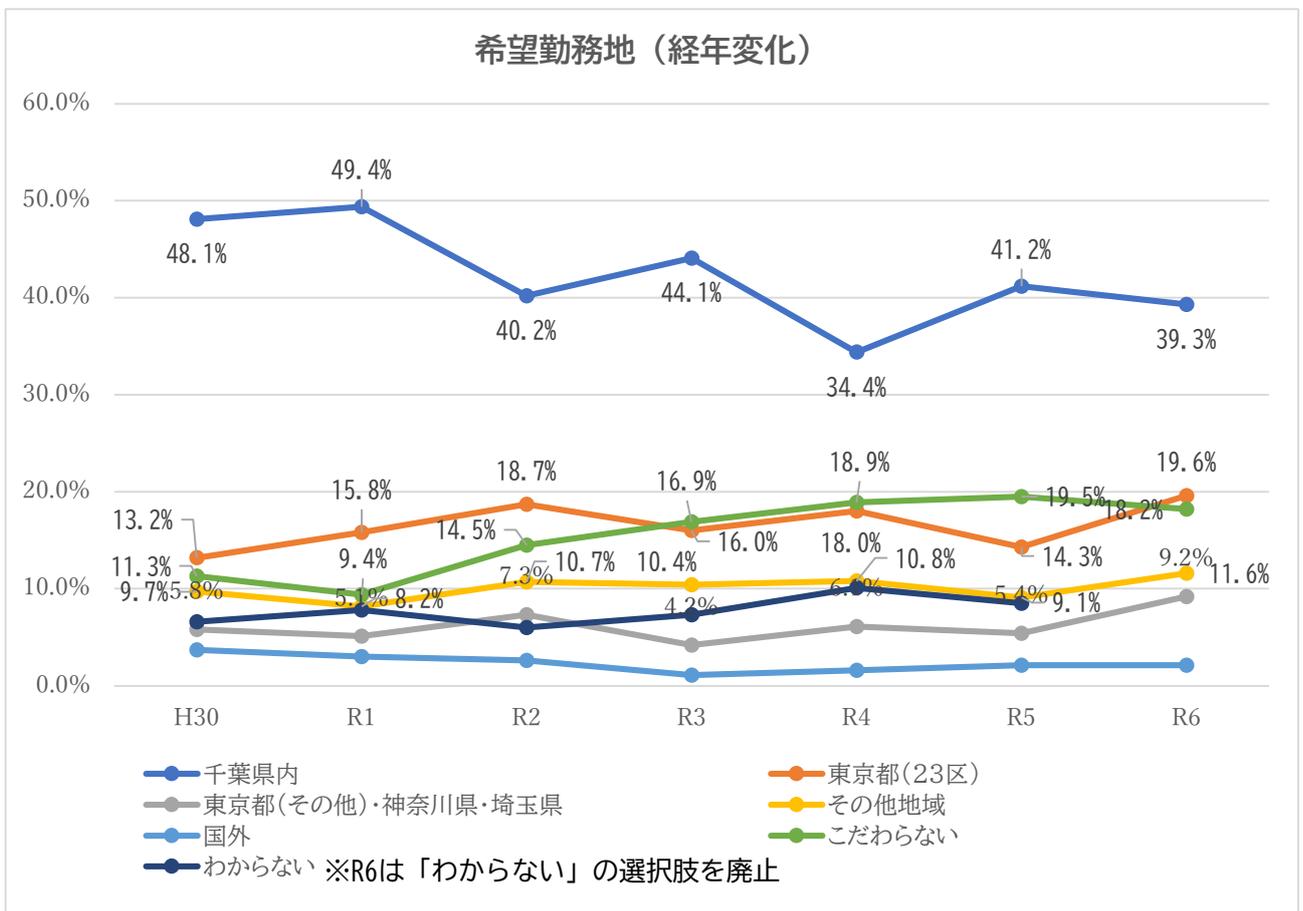
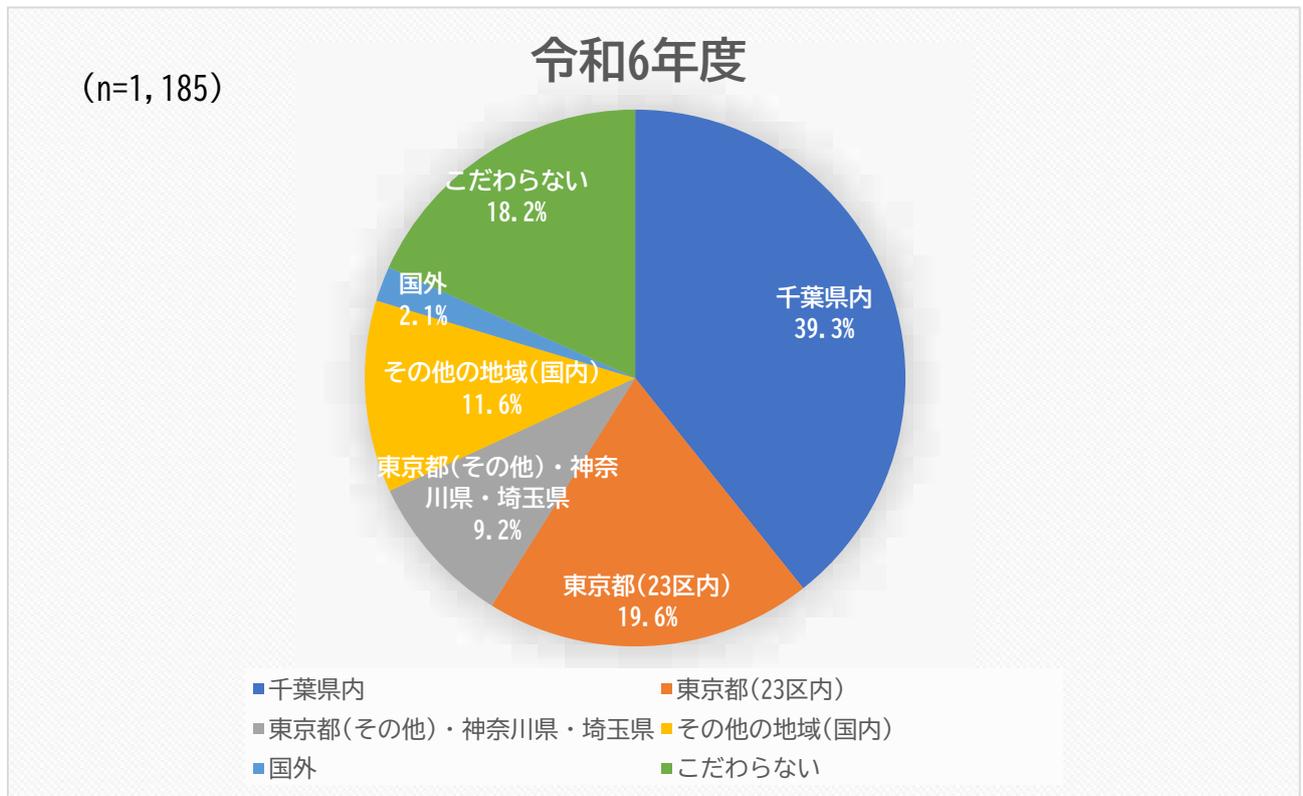
(n=674)



- | | | |
|---------------|------------------|---------------|
| ■ 食品、農林、水産 | ■ 建設 | ■ 製造 |
| ■ IT関係、ソフトウェア | ■ マスコミ、出版、印刷 | ■ 鉄道、航空、運輸、物流 |
| ■ 金融、保険、不動産 | ■ 学術研究、専門・技術サービス | ■ 販売 |
| ■ 宿泊、飲食サービス | ■ アミューズメント、レジャー | ■ 教育、保育 |
| ■ 医療 | ■ 福祉 | ■ 官公庁・公社・団体 |
| ■ 起業 | ■ 家業承継 | ■ こだわらない |
| ■ わからない | ■ その他 | |

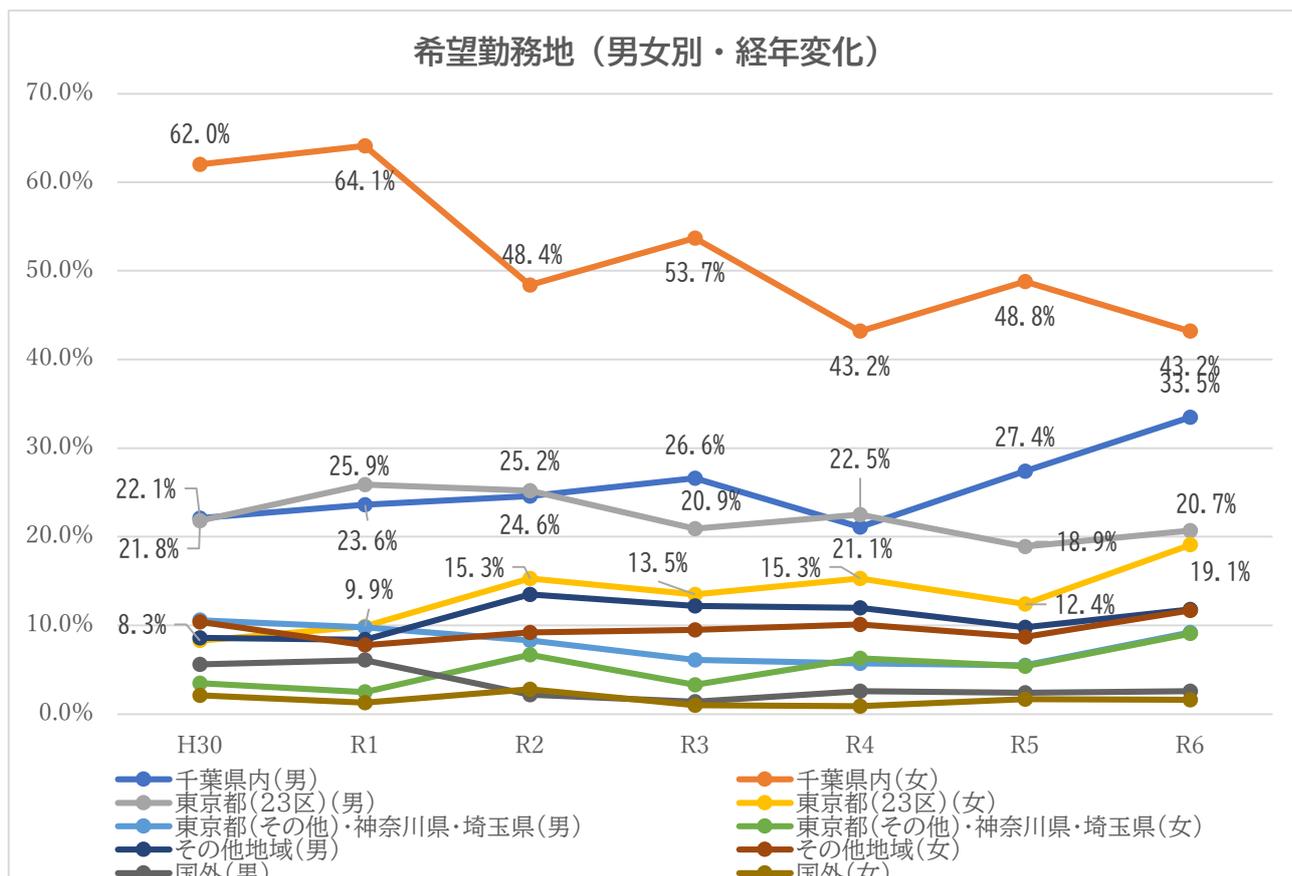
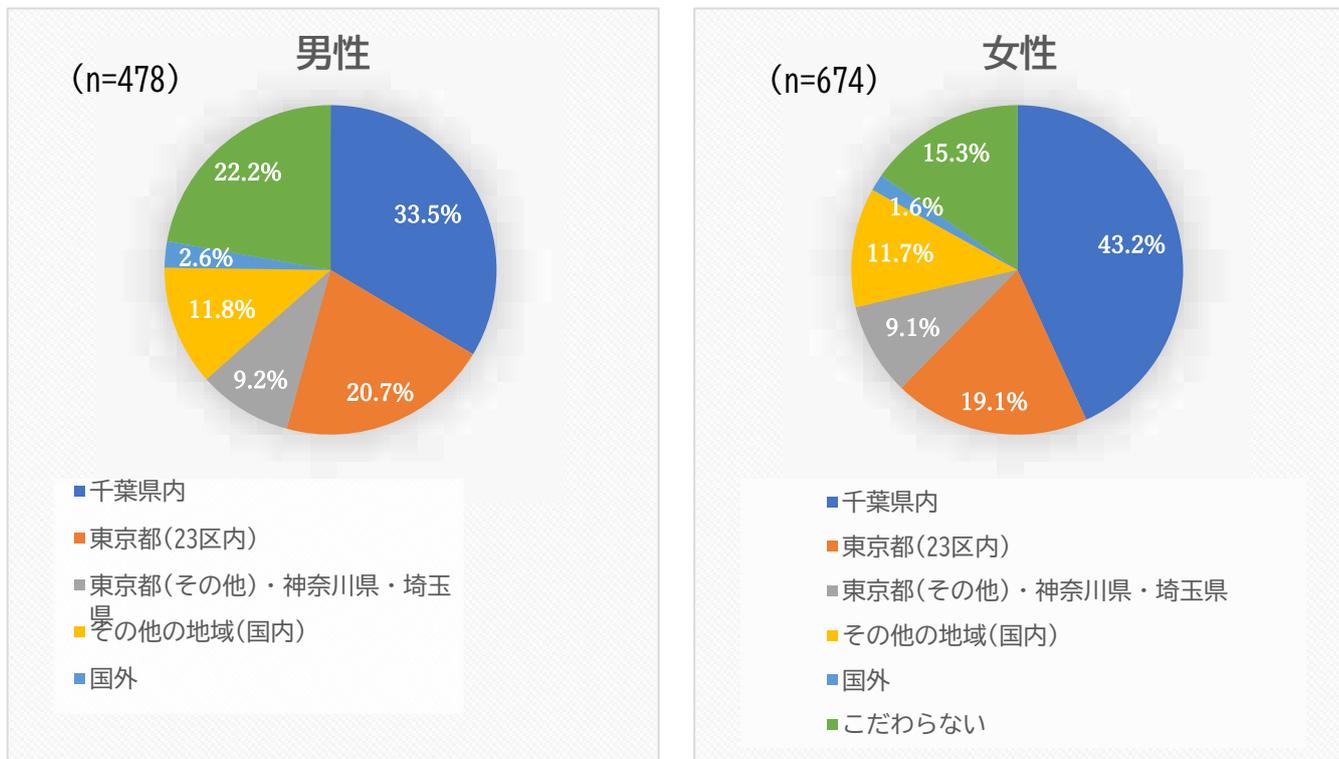
(2) 希望する勤務地

希望する勤務地としては、「千葉県内」が39.3%ともっとも多いが、経年で比較すると、「東京都(23区内)」が昨年と比較して5.3ポイント上昇しており、2番目に多い回答となっている。

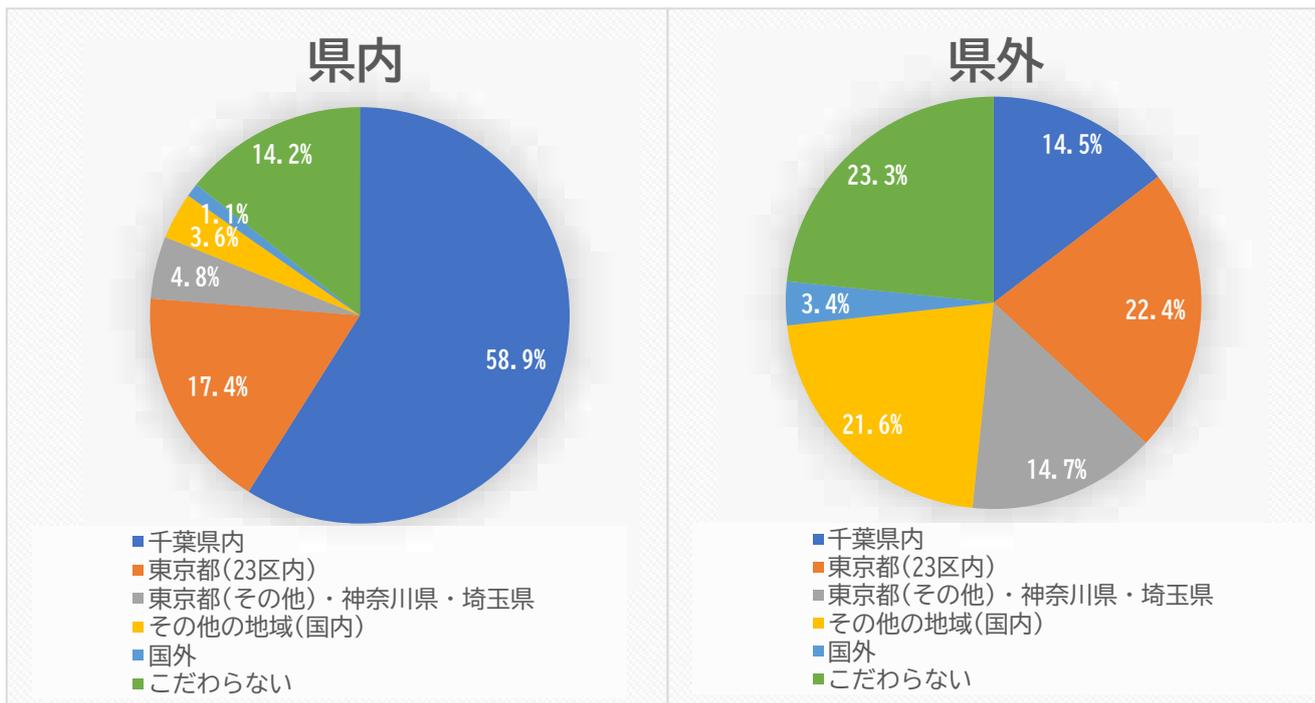


男女別にみると、女性は43.2%が「千葉県内」、19.1%が「東京都（23区内）」となる一方、男性は「千葉県内」が33.5%、「こだわらない」が22.2%となっている。

経年変化を見ると、女性の「千葉県内」の割合は上下を繰り返しながらも、全体としては減少傾向にある一方、男性の「千葉県内」の割合は増加傾向にある。また、「東京都（23区内）」の割合は、男性では令和元年以降ゆるやかに減少傾向にあるが、女性は昨年度と比べて急激に上昇していることが分かる。



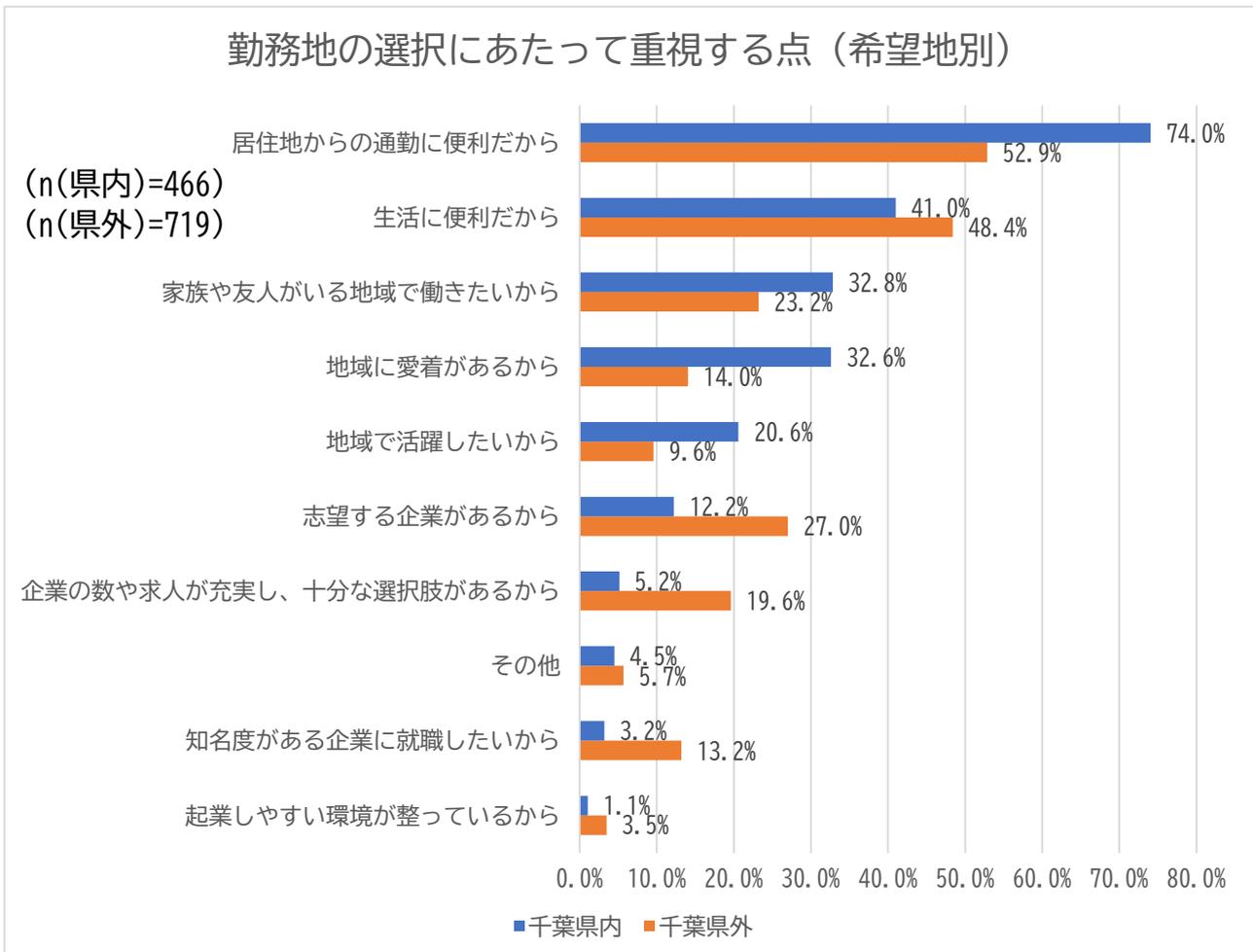
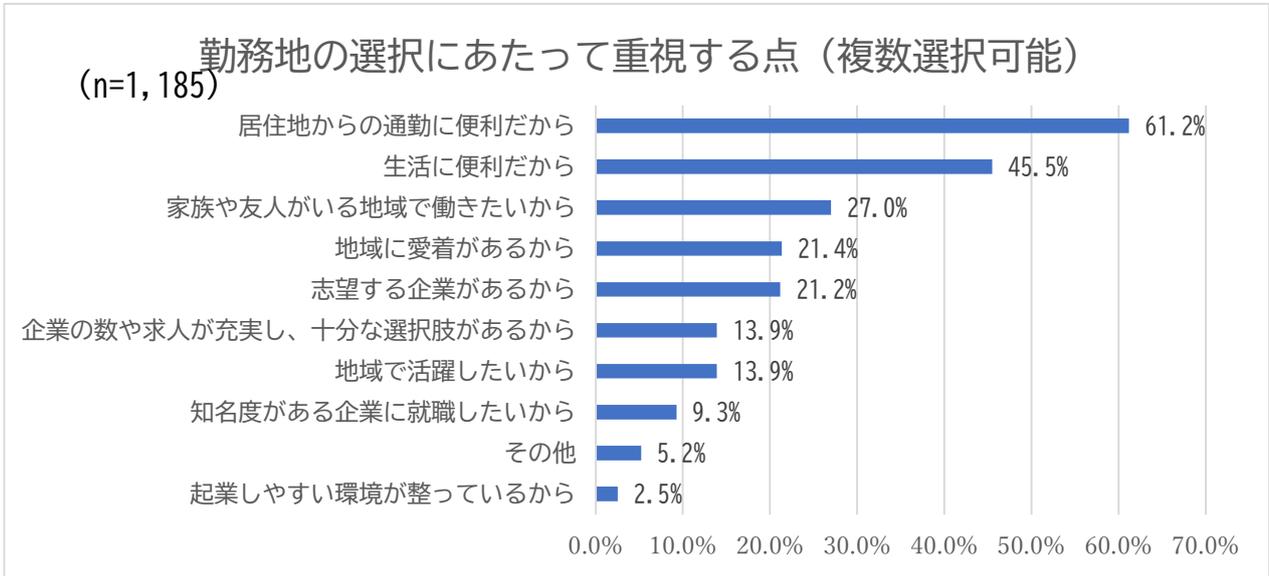
出身地別に見ると、県内出身は「千葉県内」が60%近くを占める一方で、県外出身は「こだわらない」が23.3%と最も多く、次いで「その他（国内）」が21.6%となっており、地方出身で地元に戻る方が一定程度いるものと考えられる。



(3) 勤務地の選択にあたって重視する点

勤務地の選択にあたって重視する点としては、「居住地からの通勤に便利だから」と「生活に便利だから」を回答しているものが、他の項目と比べて多いことが分かる。

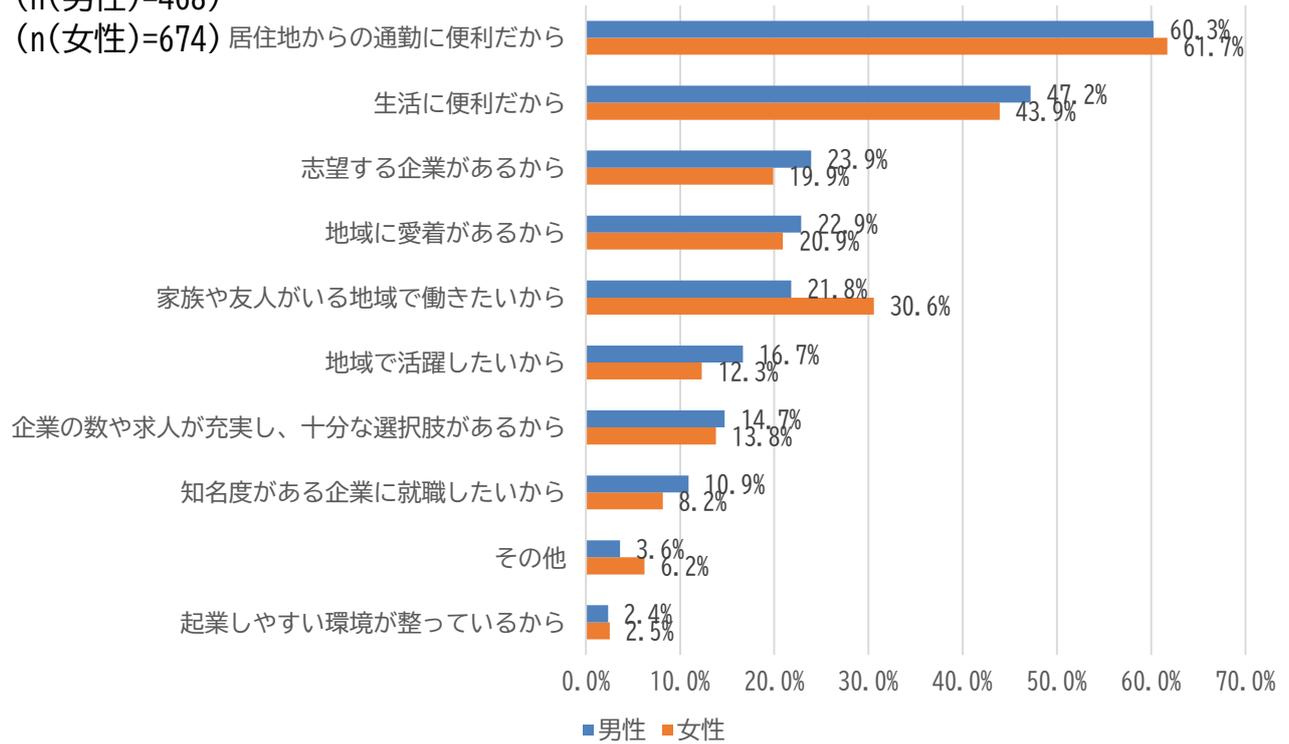
また、県内・県外の勤務地を希望する人も「居住地からの通勤に便利だから」、「生活に便利だから」を多く挙げている。ただし、「志望する企業があるから」については、県外の勤務地を志望する人では回答が多いが、県内の勤務地を志望する人は、回答が少ないことが分かる。



勤務地の選択にあたって重視する点（男女別）

(n(男性)=468)

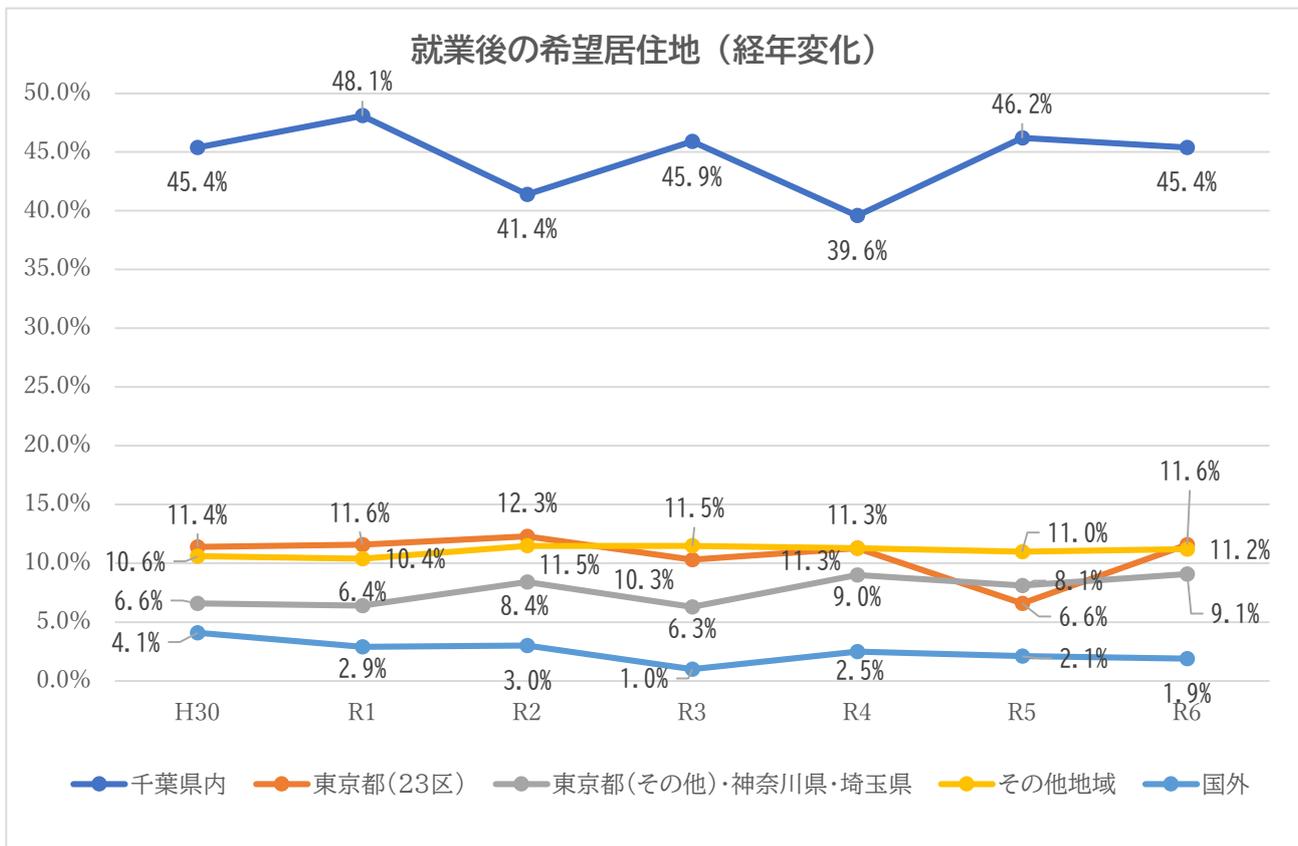
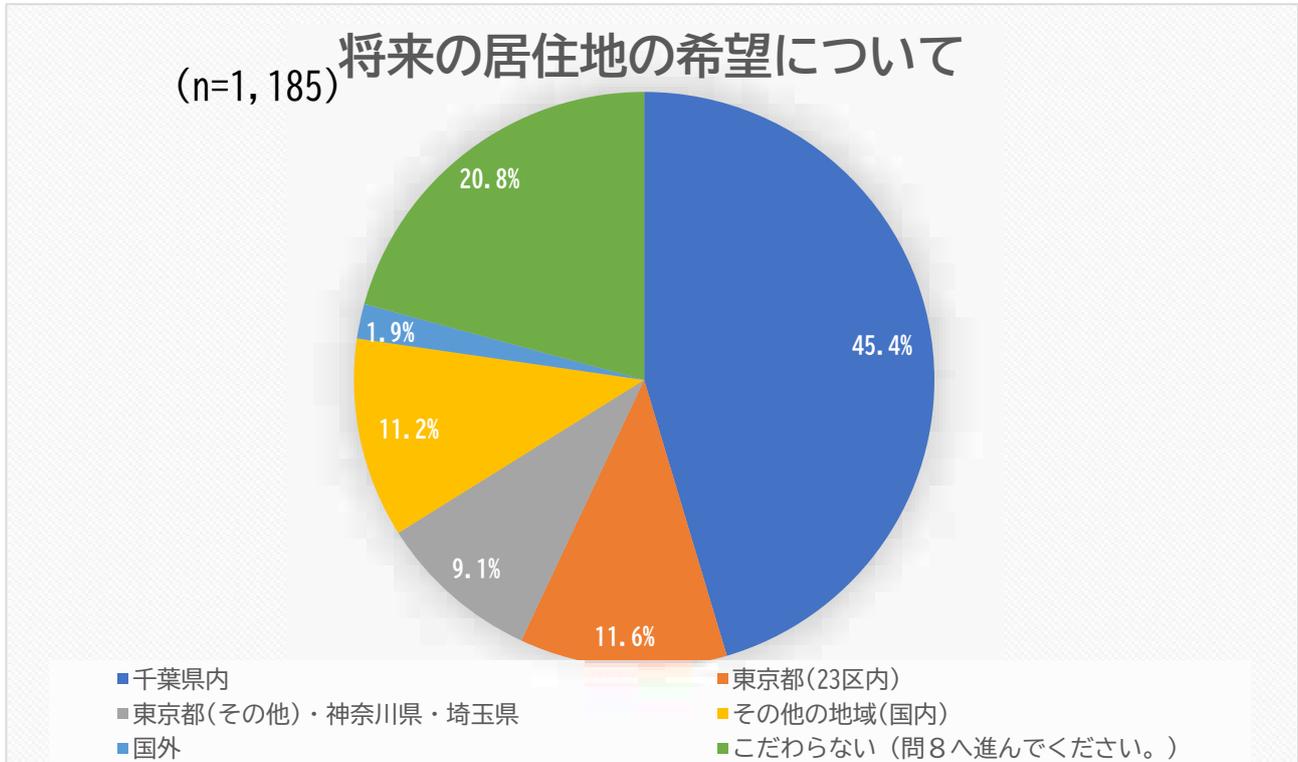
(n(女性)=674) 居住地からの通勤に便利だから



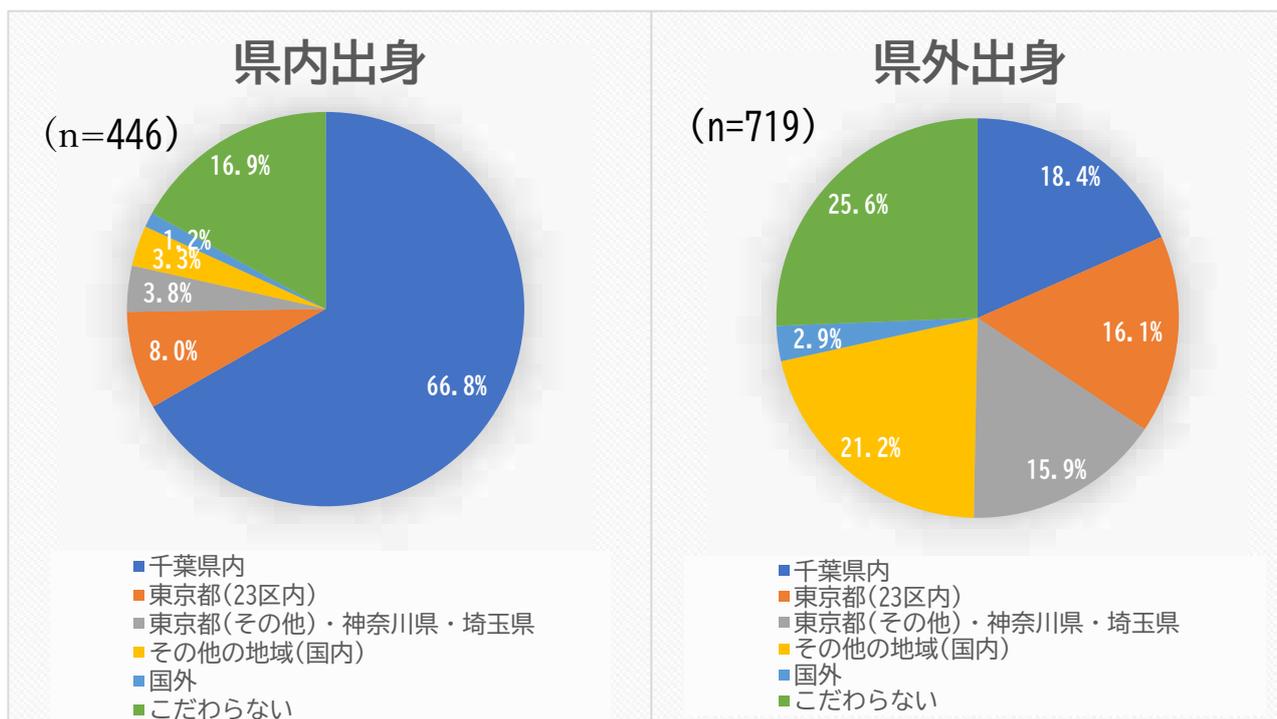
3. 将来の居住地の希望について

(1) 就業後の居住地の希望

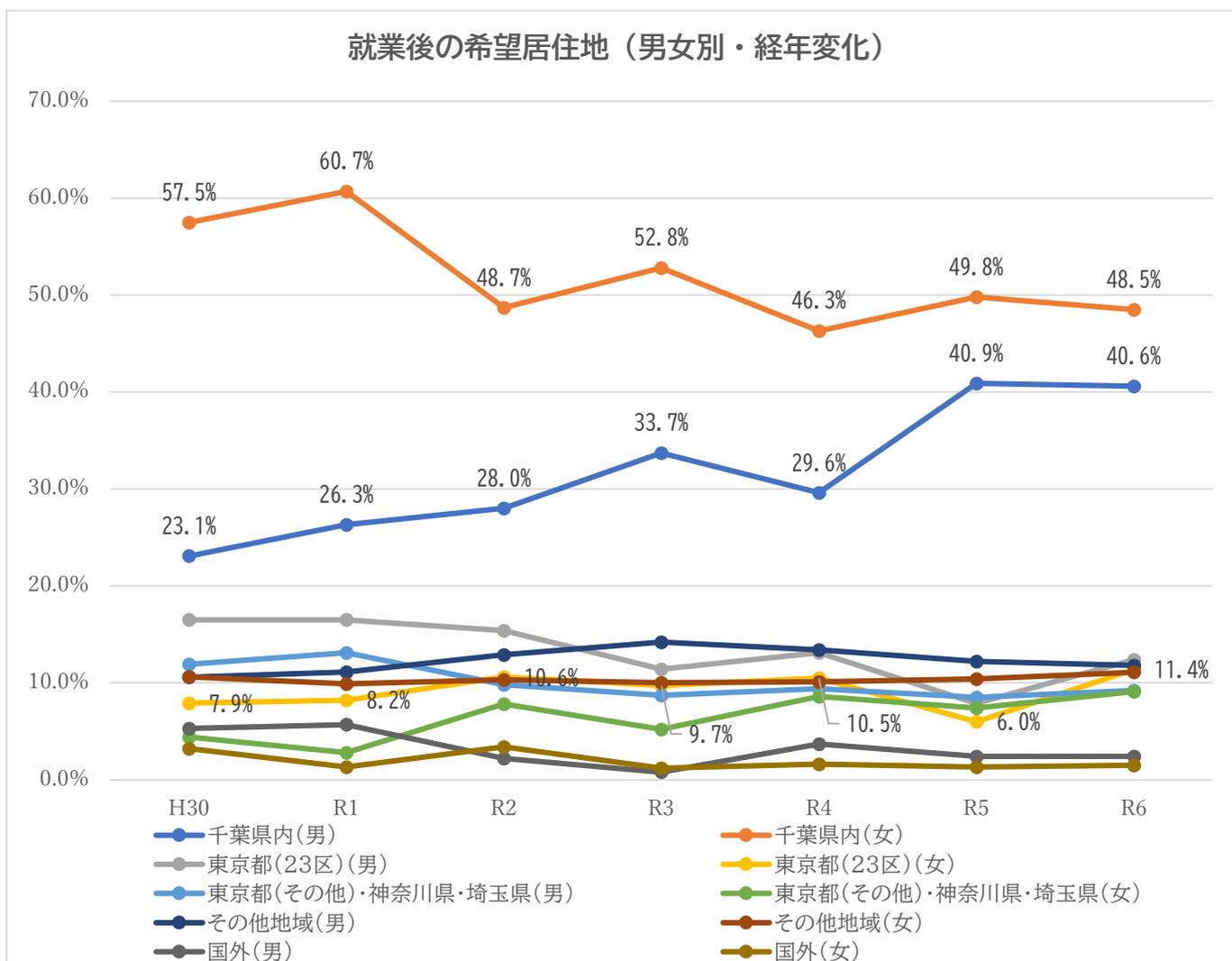
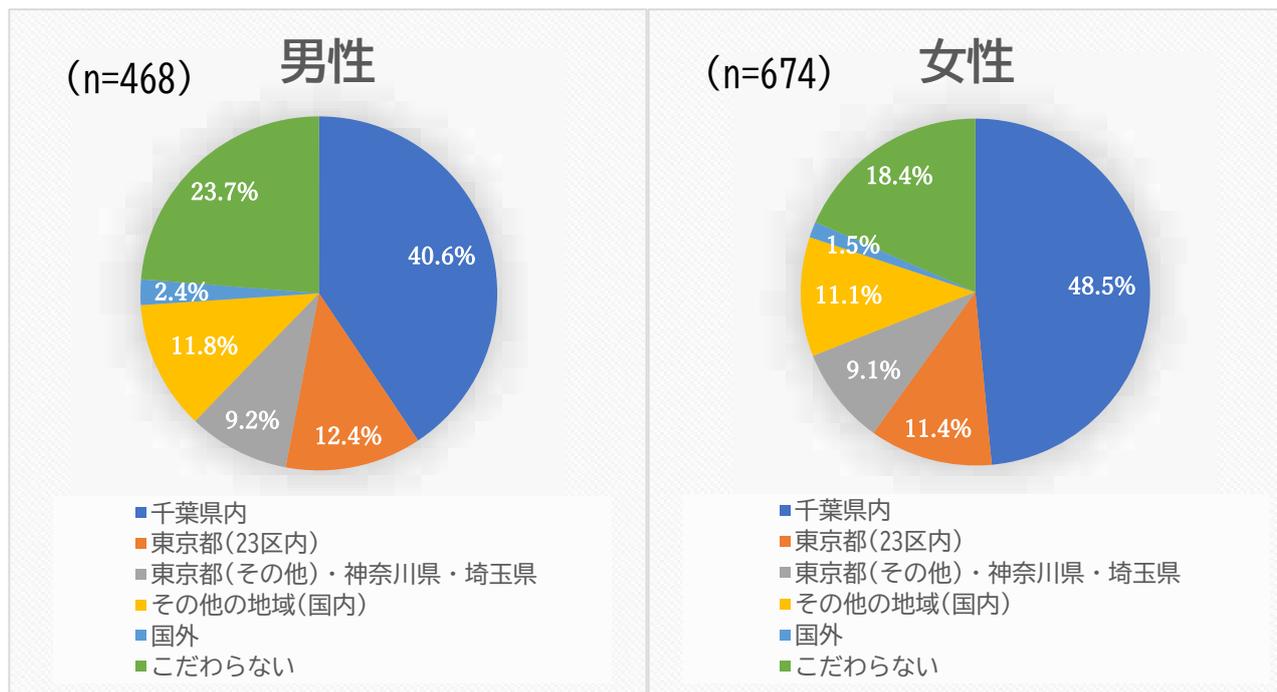
就業後の居住地の希望については、「千葉県内」が昨年度より 0.8 ポイント減少し、45.4%となっている。経年変化を見ると、「千葉県内」は増減を繰り返している一方、「東京都（23区）」は昨年度と比べ、5.0 ポイント増の 11.6%となっており、増加していることが分かる。



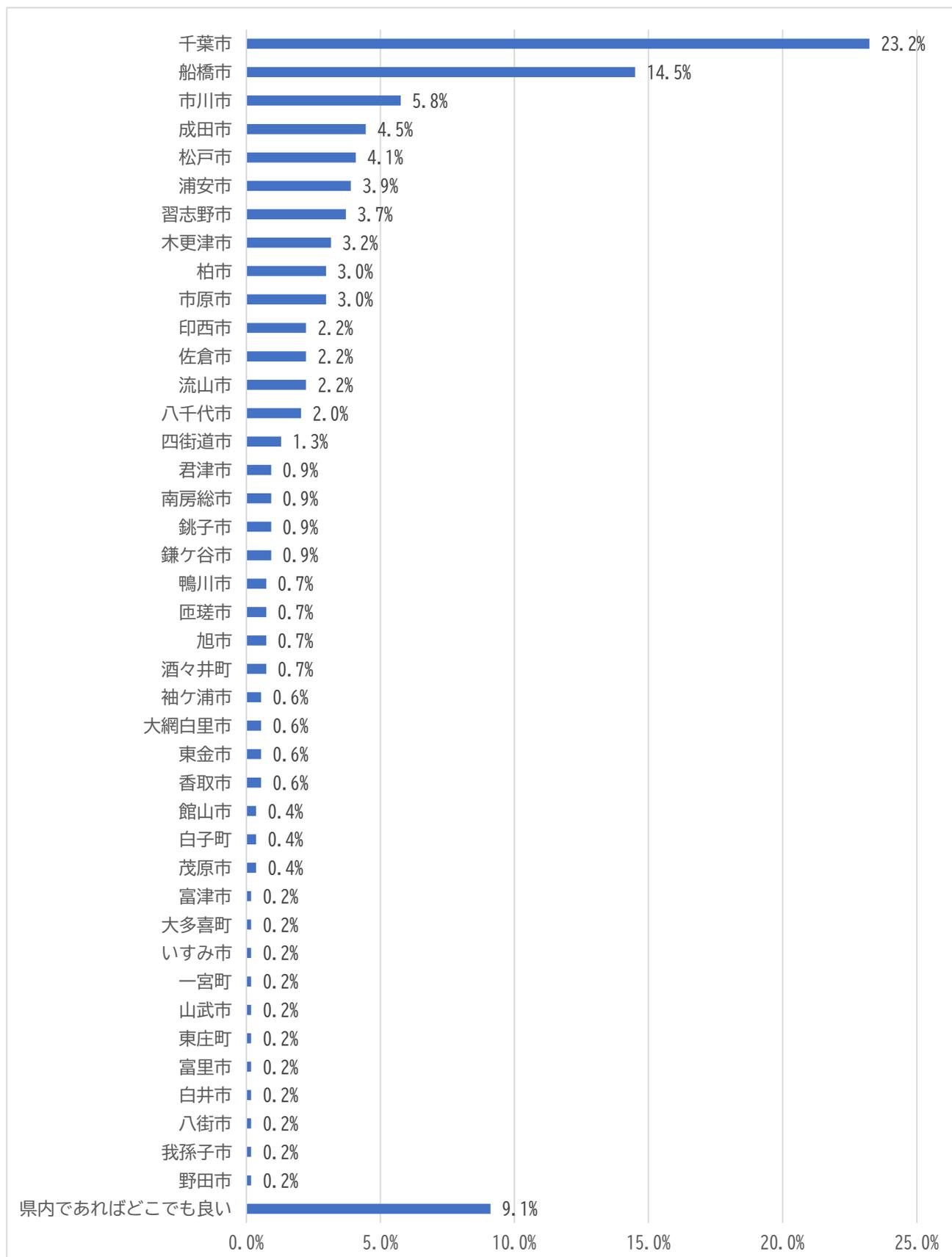
出身地別に見ると、県内出身者の「千葉県内」は65%以上となっている一方、県外出身者は「こだわらない」の割合が25.6%と最も大きく、次いで「その他（国内）」が21.2%となっている。



男女別で見ると、女性では「千葉県内」が50%近くを、男性では40%強を占めている。ただ、経年変化を見ると、昨年度と比べ「千葉県内」の割合が男性、女性ともに減っている一方、女性においては「東京都（23区）」の回答が昨年度と比べ5.4ポイント増加している。

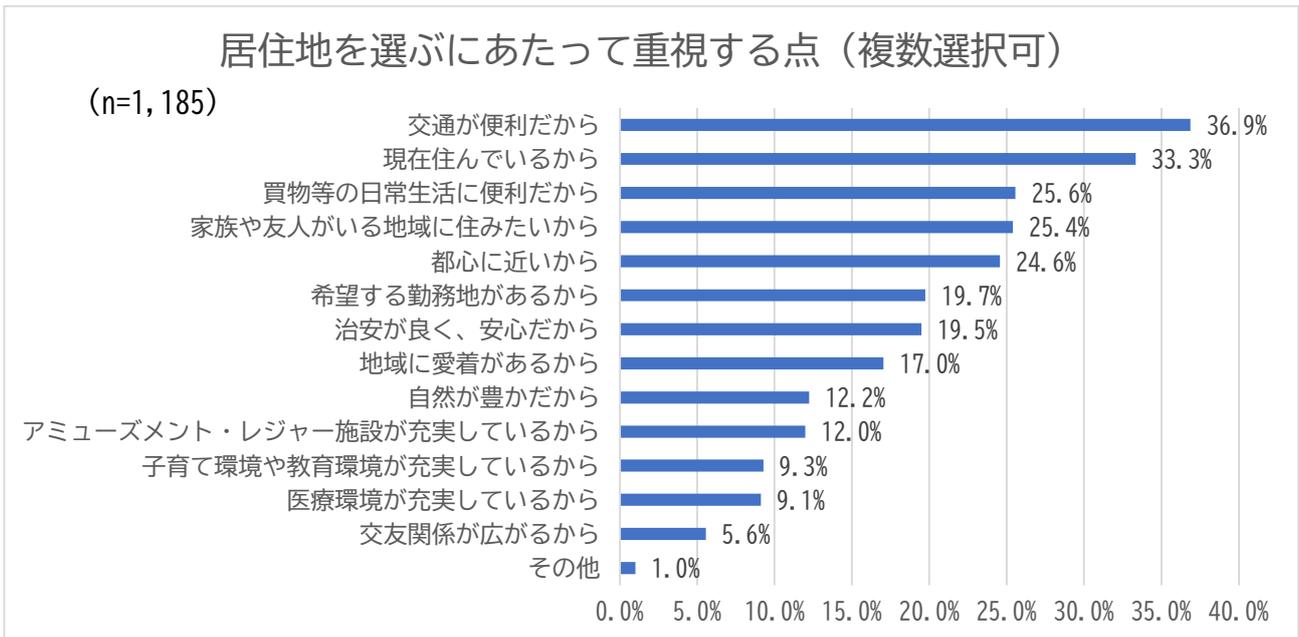


就業後の希望居住地を「千葉県内」とした人に県内のどの地域に住みたいかを尋ねたところ、「千葉市」や「船橋市」、「市川市」などの東京に近い地域が多く、また、「成田市」、「印西市」や「佐倉市」などの印旛地域が続く形になっている。



(2) 居住地を選ぶにあたって重視する点

居住地を選ぶにあたって重視する点として最も多く回答があったのは「交通が便利だから」であった。次に「現在住んでいるから」、「買い物等の日常生活に便利だから」が続いている。

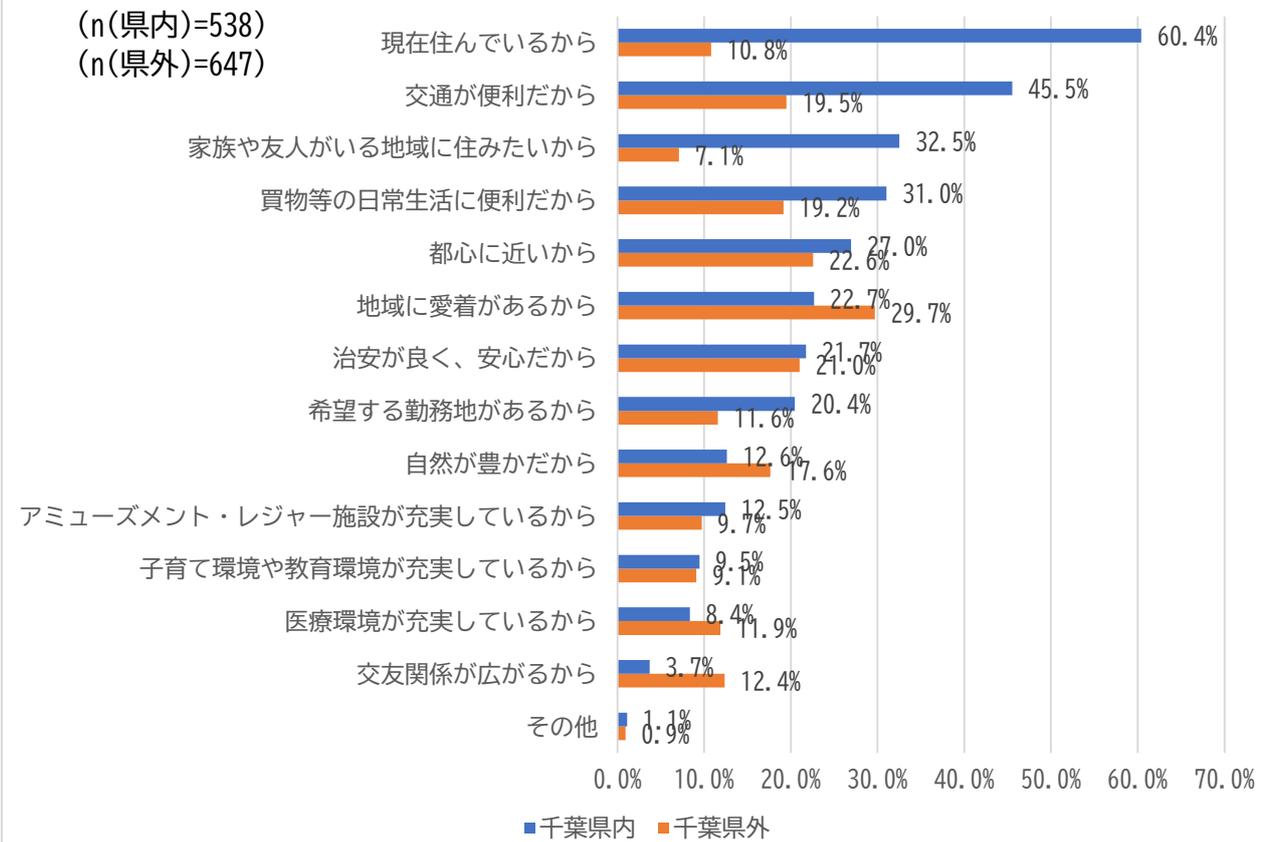


就職後の居住地として千葉県内を回答した人は「現在住んでいるから」、「交通が便利だから」、「買い物等の日常生活に便利だから」を選択していることが多い。

千葉県外を居住希望地として回答した人は「地域に愛着があるから」、「都心に近いから」、「治安が良く、安心だから」を選択していることが多い。

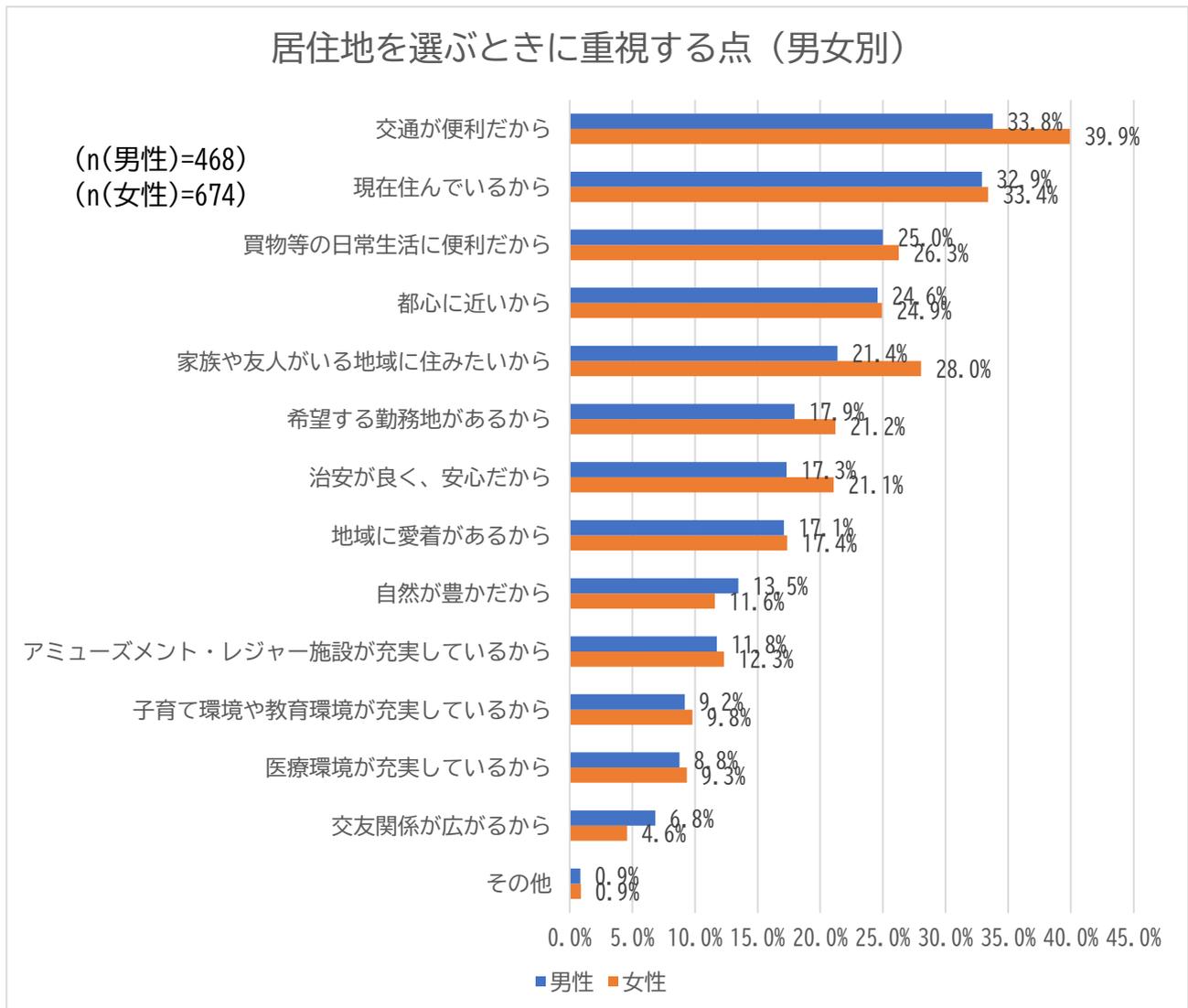
また、両者に共通して「交通が便利だから」と「買い物等の日常生活に便利だから」が重視されている。

居住地を選ぶにあたって重視する点（希望地別）



男女別で見ると、女性は「家族や友人が近くにいる地域に住みたいから」を選択している傾向が多い。

また、「交通が便利だから」と「現在住んでいるから」は、男女共通して多く回答している。



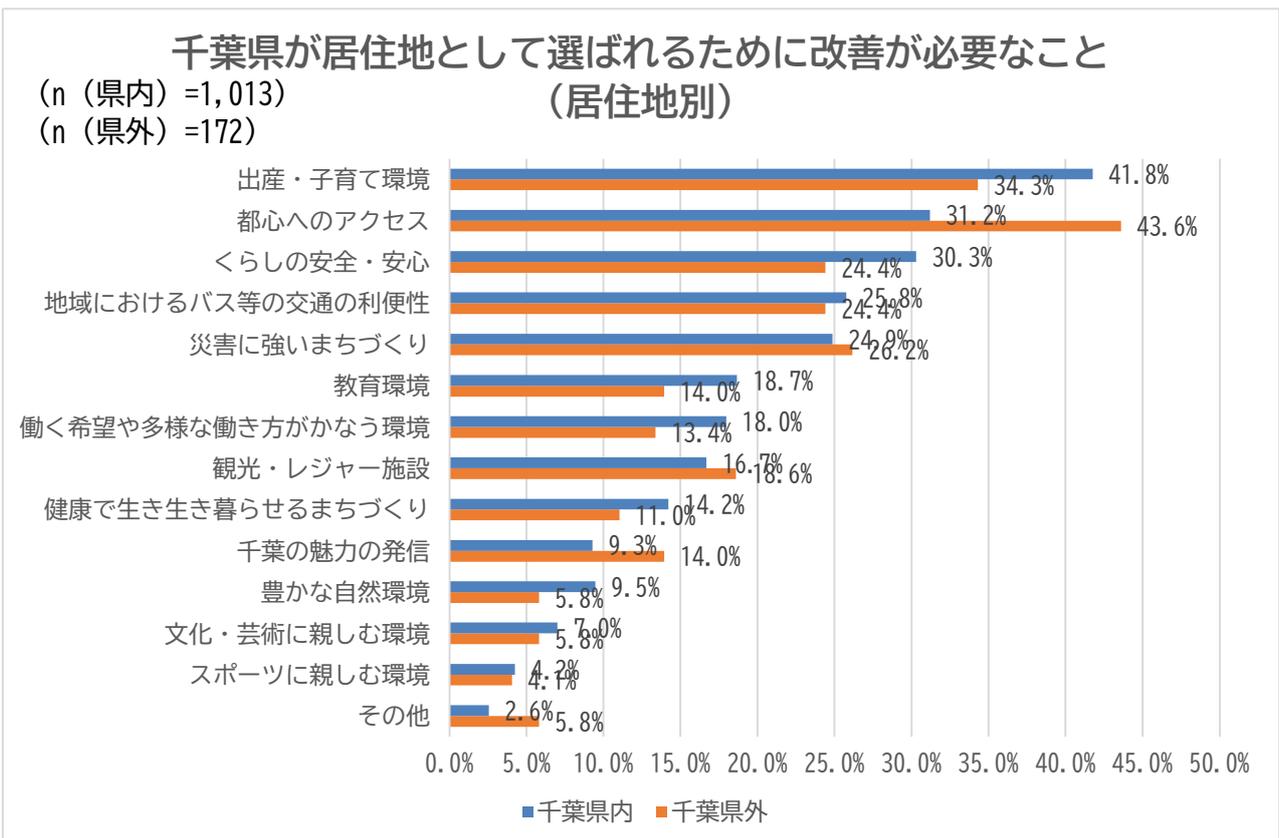
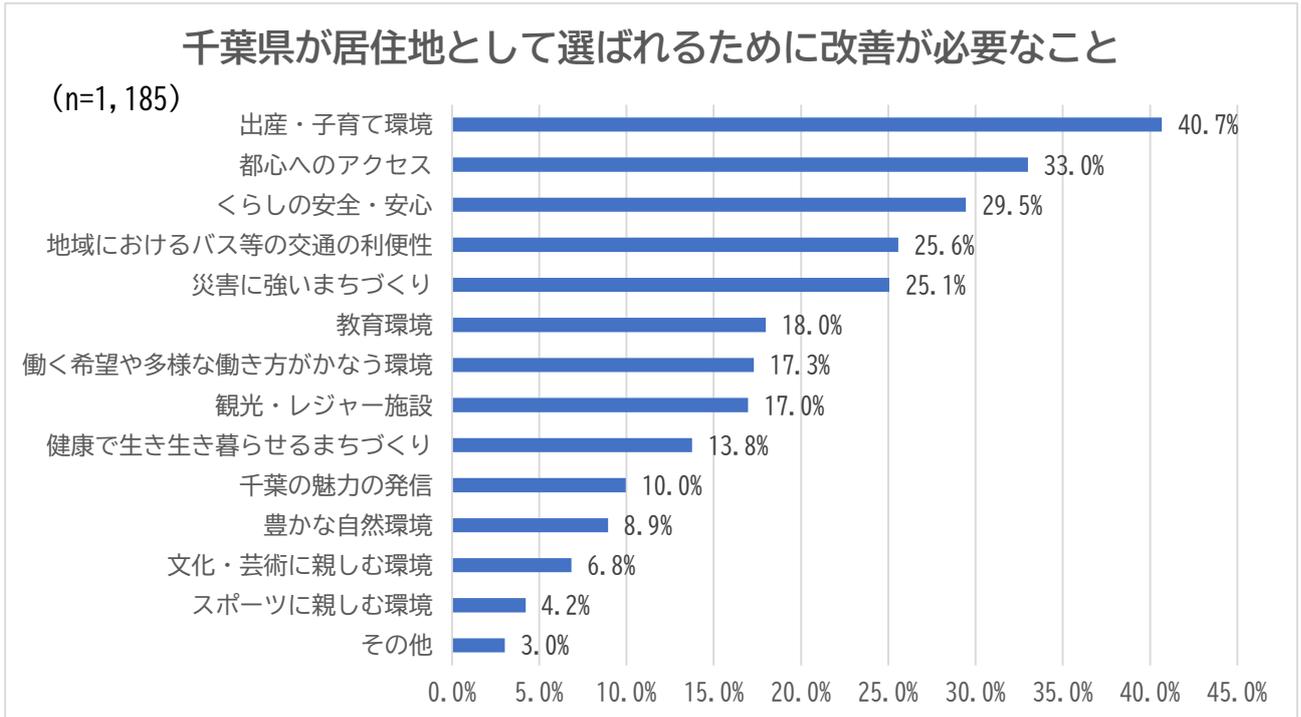
(3) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことは、「出産・子育て環境」、「都心へのアクセス」、「くらしの安全・安心」が多く回答されている。

居住地別にみた場合、県内居住者の場合、「出産・子育て環境」が最も多いのに対し、県外に居住しているものでは、「都心へのアクセス」最も多くなっている。

出身地別に見ると、県内出身者は「結婚・出産・子育て環境」、「都心へのアクセス」、「くらしの安全・安心」「教育環境」を選択していることが多い。

また、「都心へのアクセス」や「災害に強いまちづくり」は県外出身者の割合が大きくなっている。

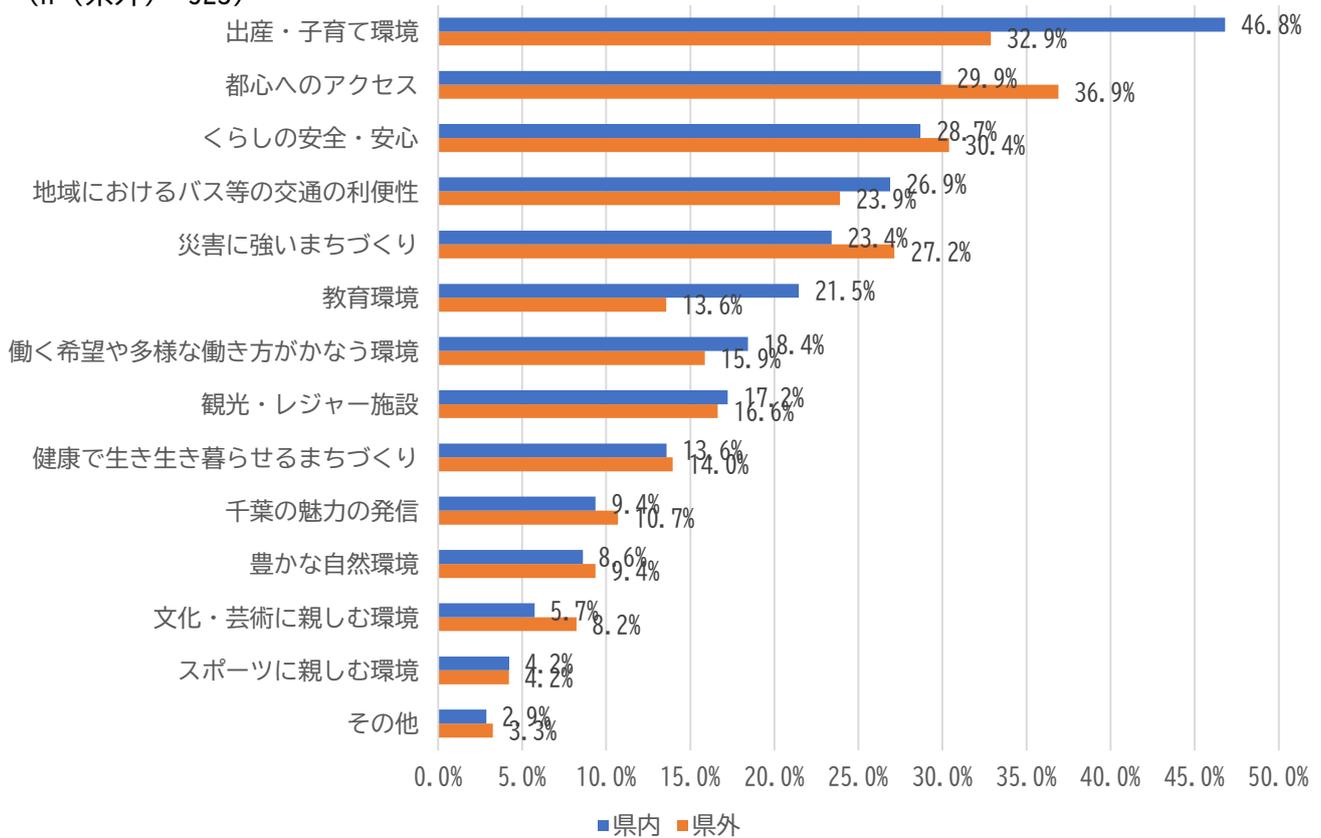


千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

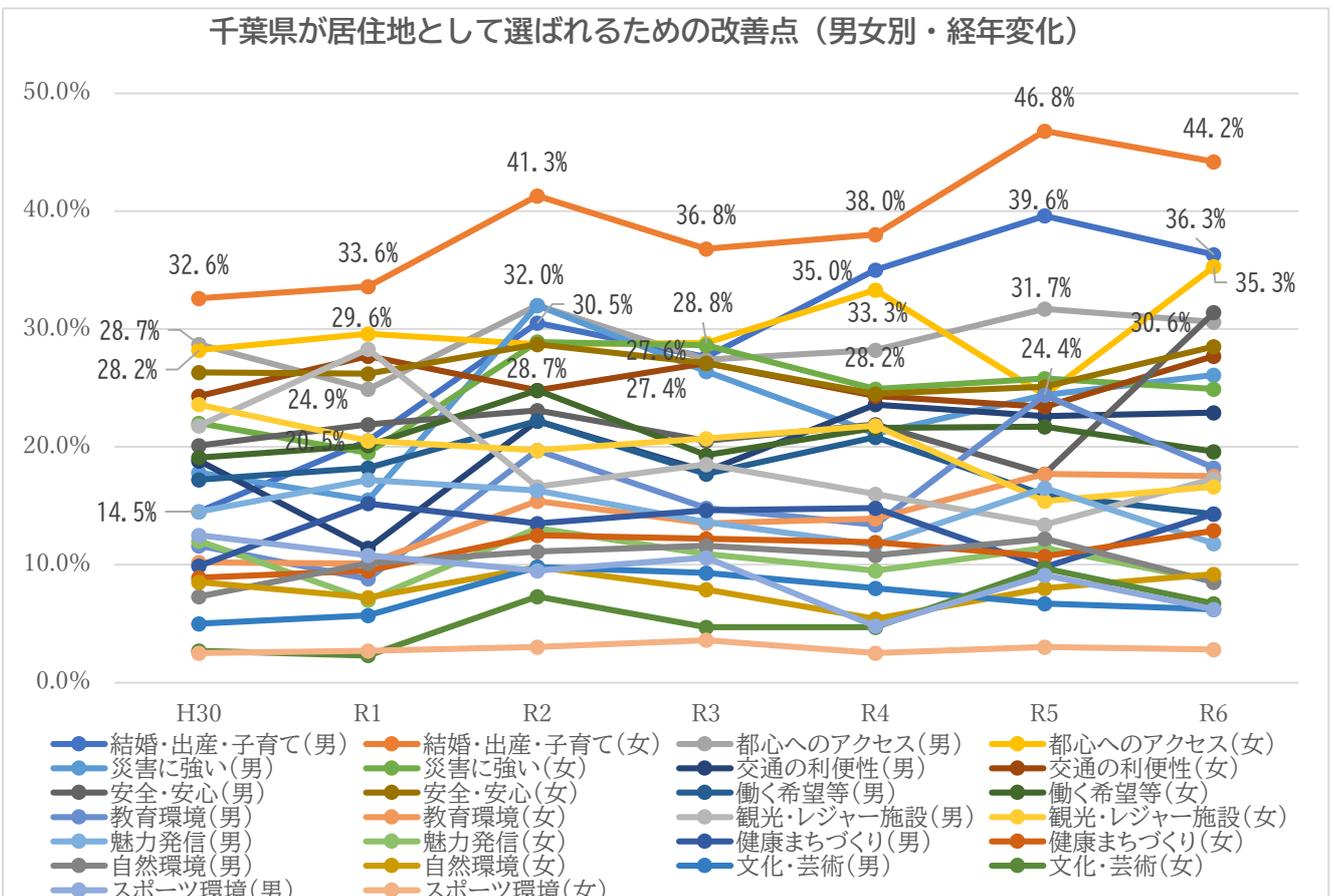
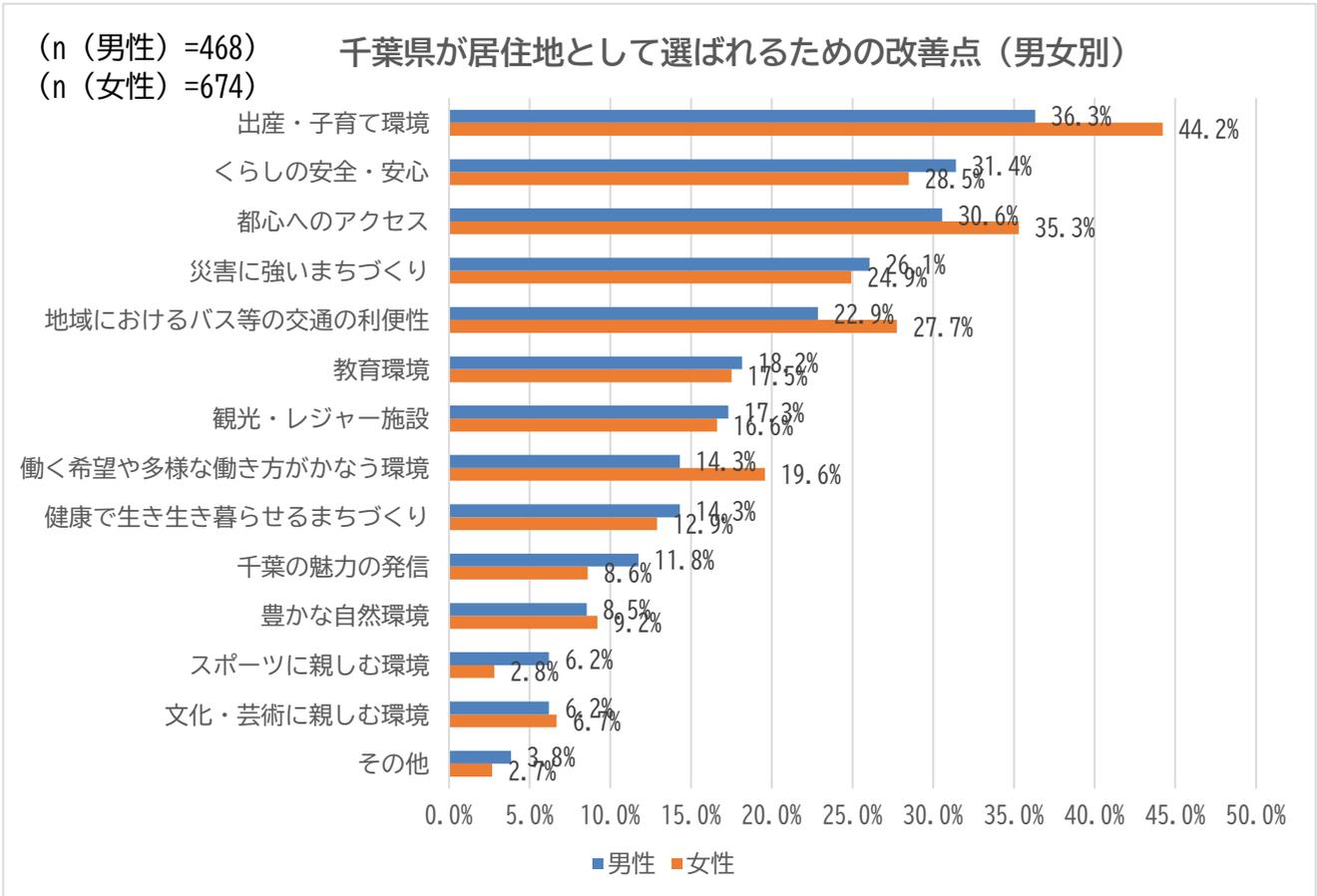
(n (県内) =662)

(n (県外) =523)

(出身地別)



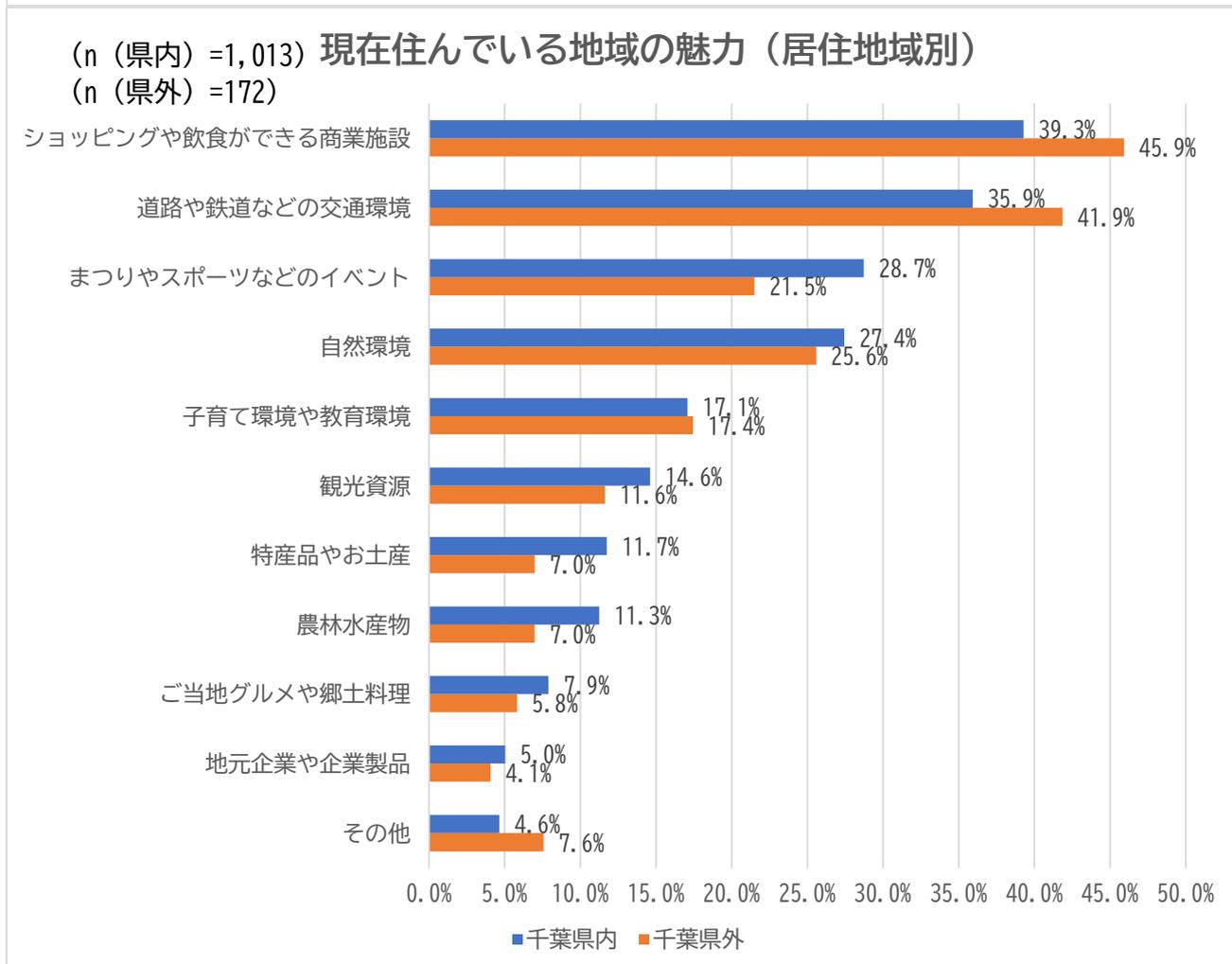
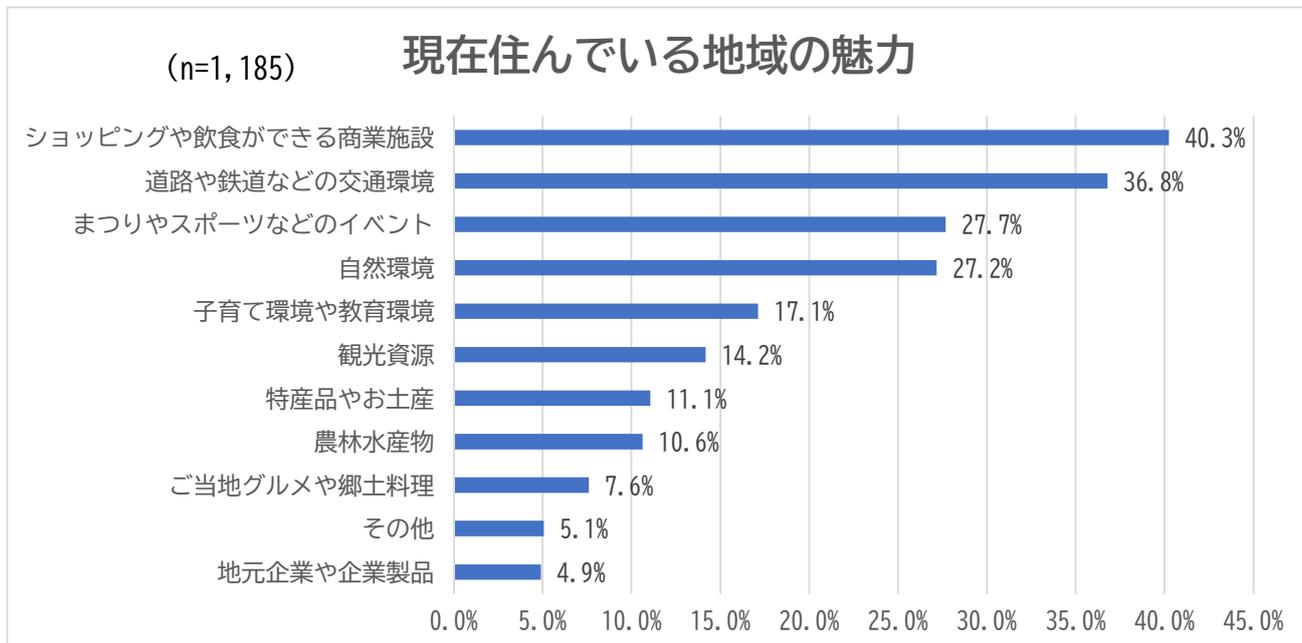
男女別で見ると、「出産・子育て環境」で男性・女性ともに多く回答されていることが分かる。また、「都心へのアクセス」で女性の割合は、昨年度と比べ 10.9 ポイントと急激に増加している。



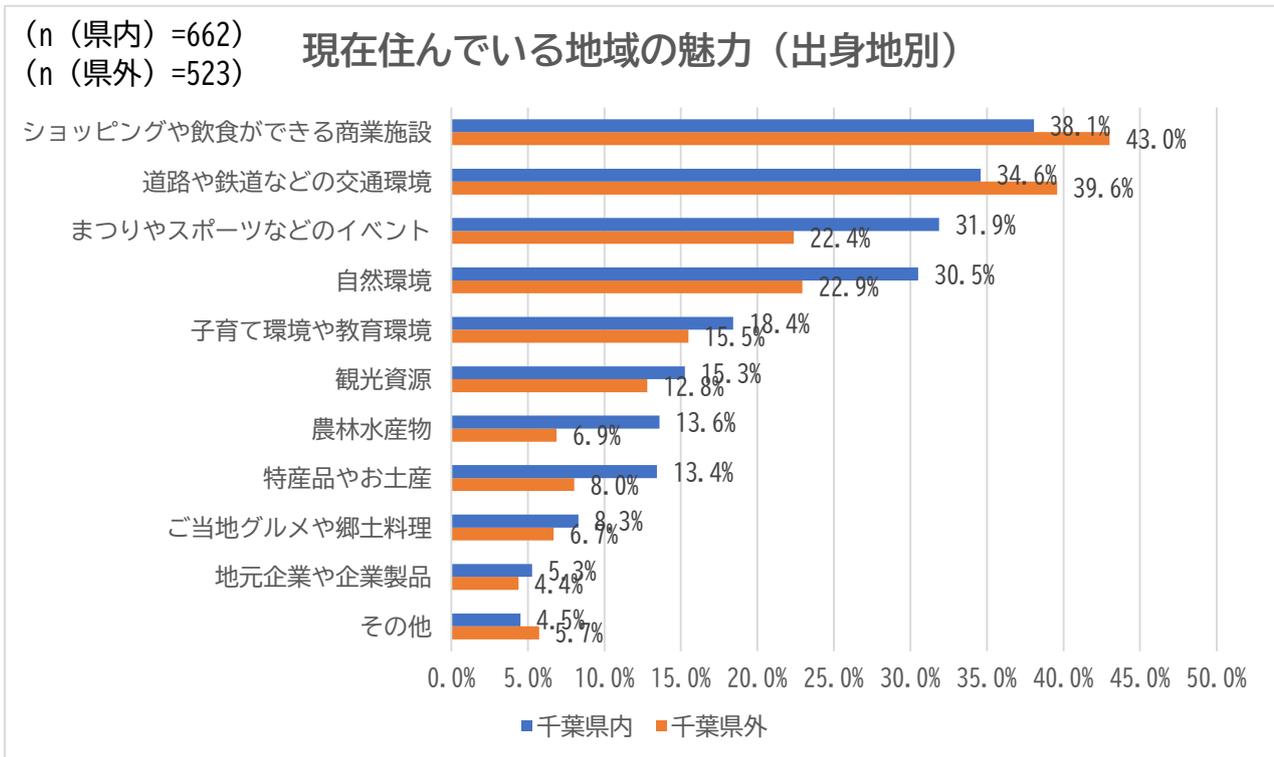
4. 現在住んでいる地域の魅力について

(1) 住んでいる地域の魅力

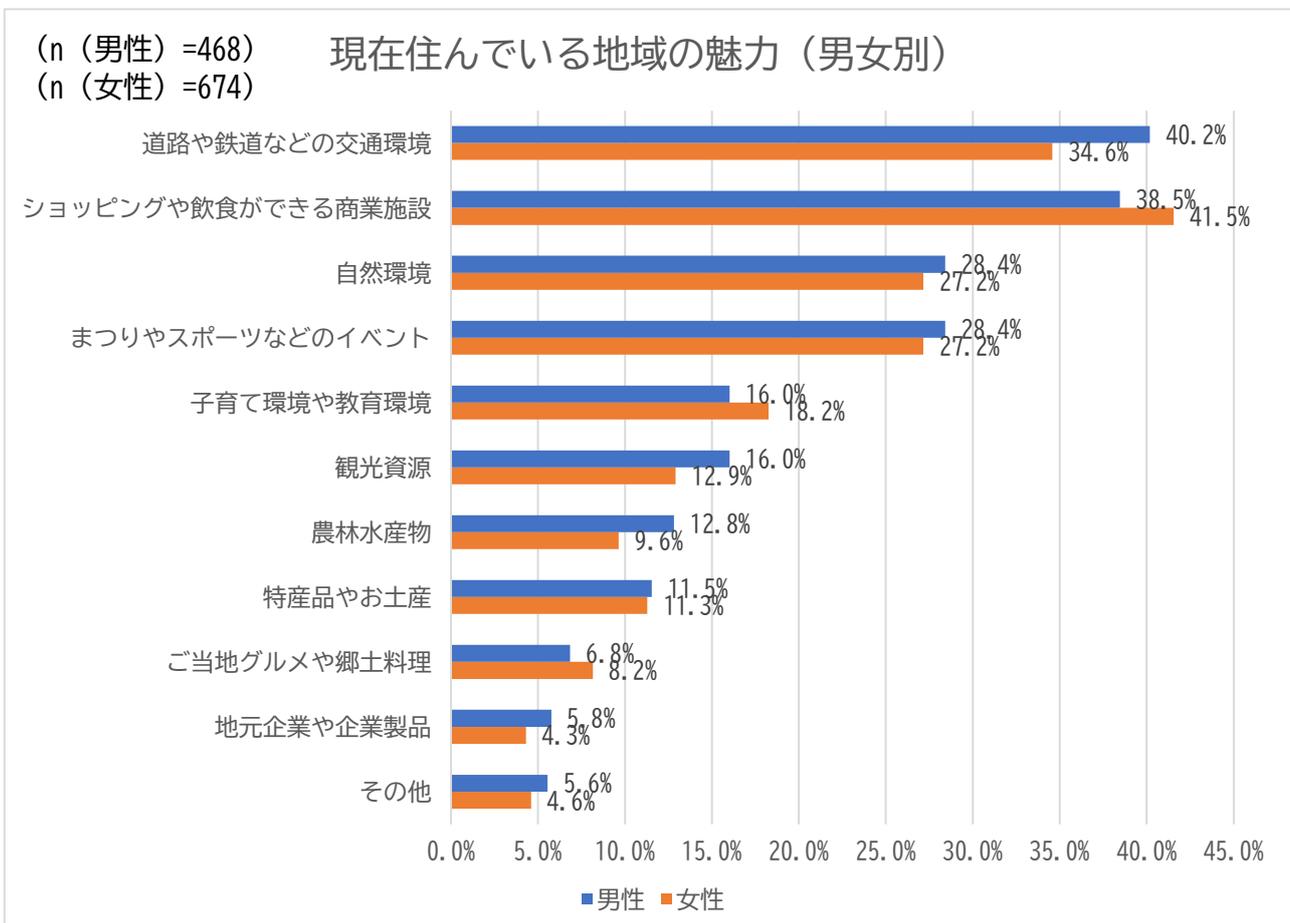
ショッピングや飲食ができる商業施設が最も多く、次いで、道路や鉄道などの交通環境が多い。また、居住地別に比較すると、「ショッピングや飲食ができる商業施設」「道路や鉄道などの交通環境」では県外居住者の割合が多い一方、県内出身者は「まつりやスポーツなどのイベント」を回答している割合が多い。



出身地別に見ても、「ショッピングや飲食ができる商業施設」「道路や鉄道などの交通環境」では県外出身者の割合が多い一方、県内出身者は「まつりやスポーツなどのイベント」を回答している割合が多くなっており、居住地別で比較したときと同じ回答傾向をしている。

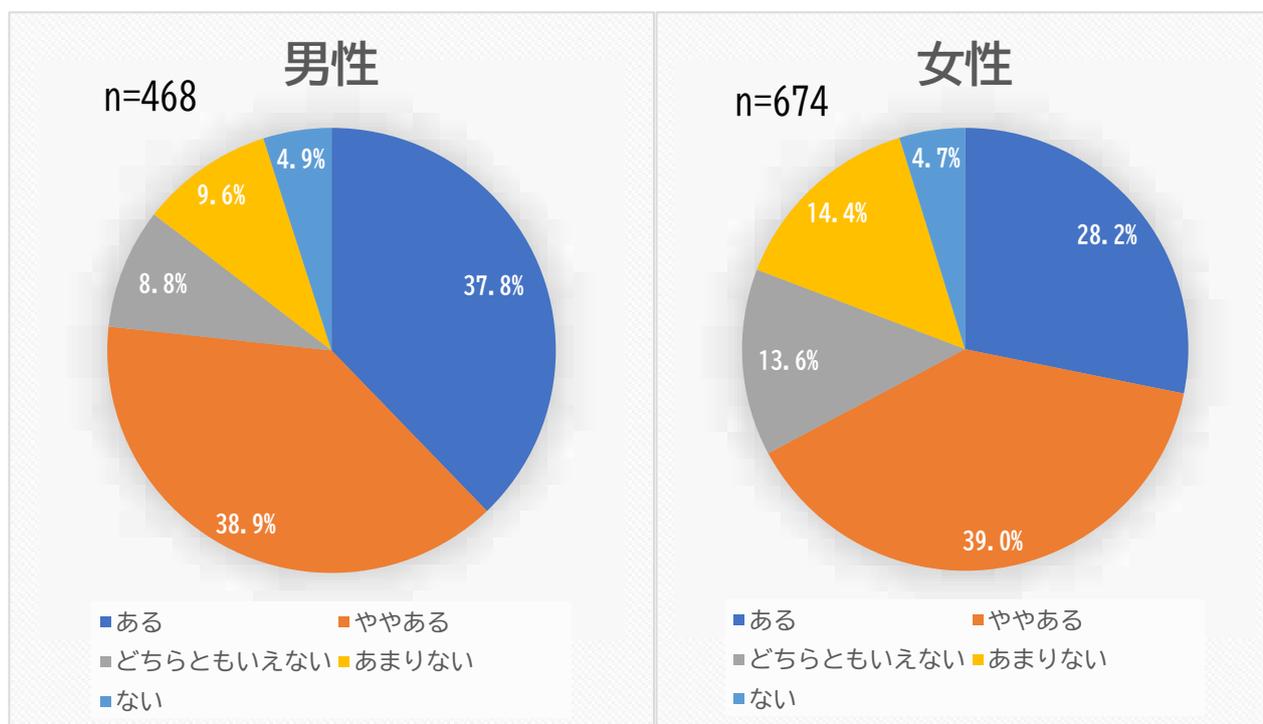
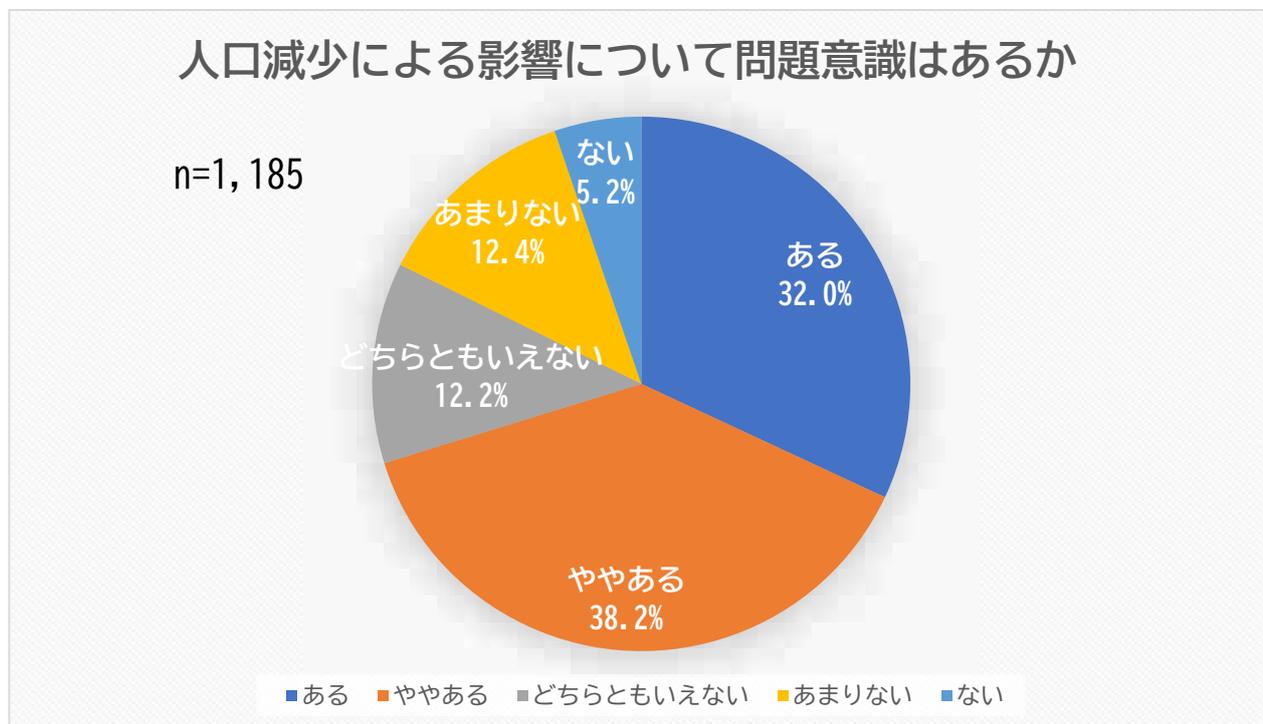


男女別で見ると、「道路や鉄道などの交通環境」などでは男性の割合が大きくなっている一方、「ショッピングや飲食ができる商業施設」などでは女性の割合が大きくなっている。

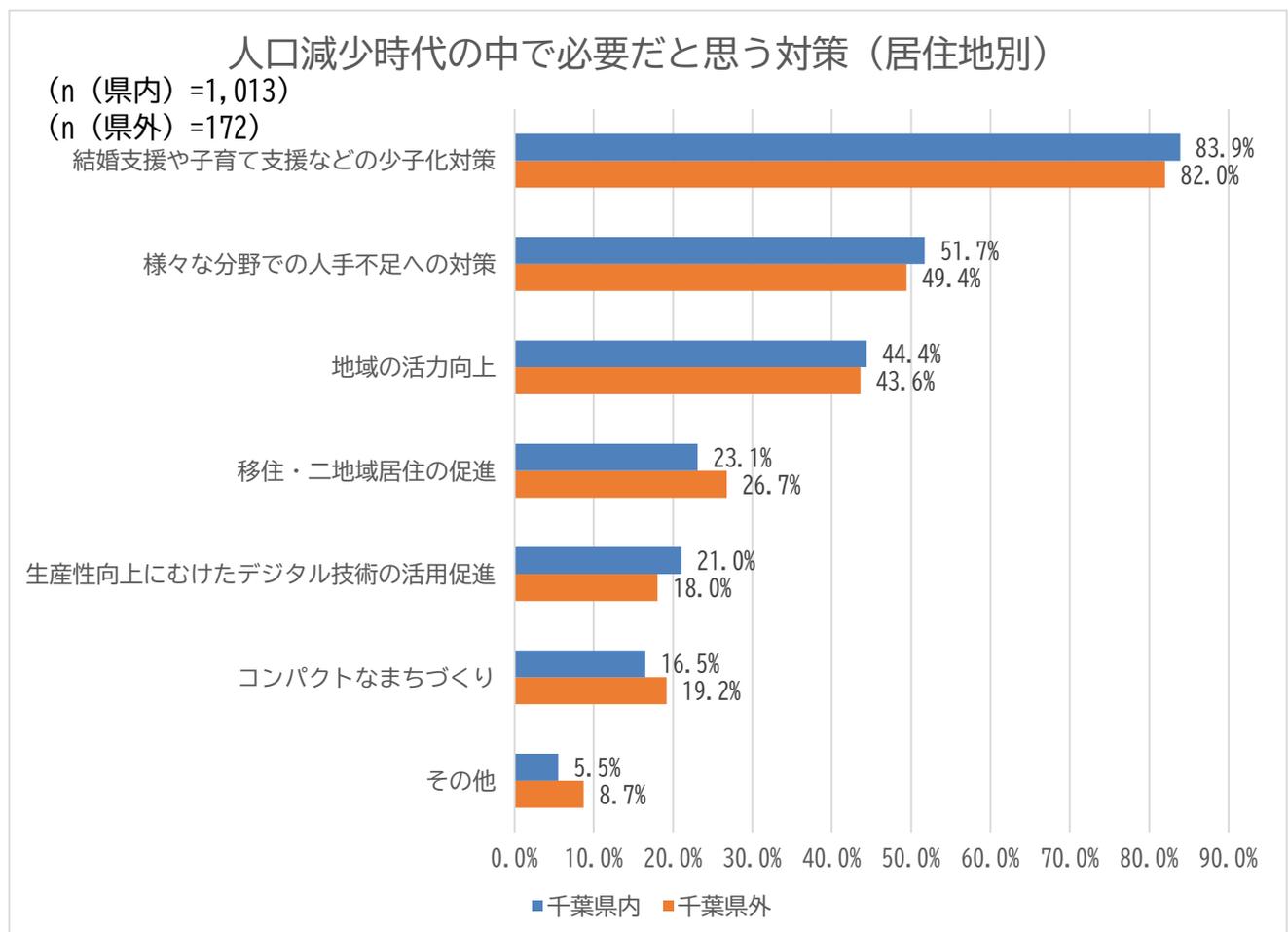
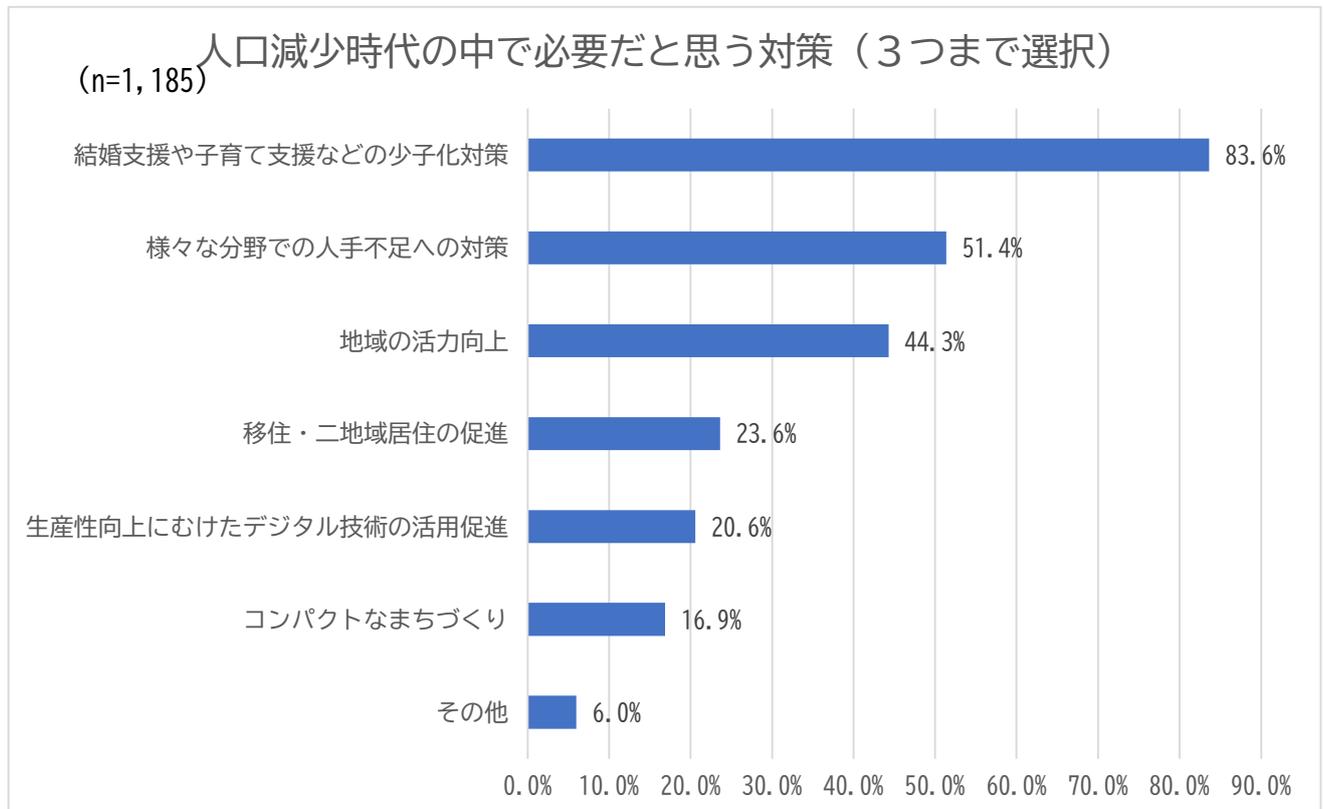


5. 人口減少時代における問題意識について

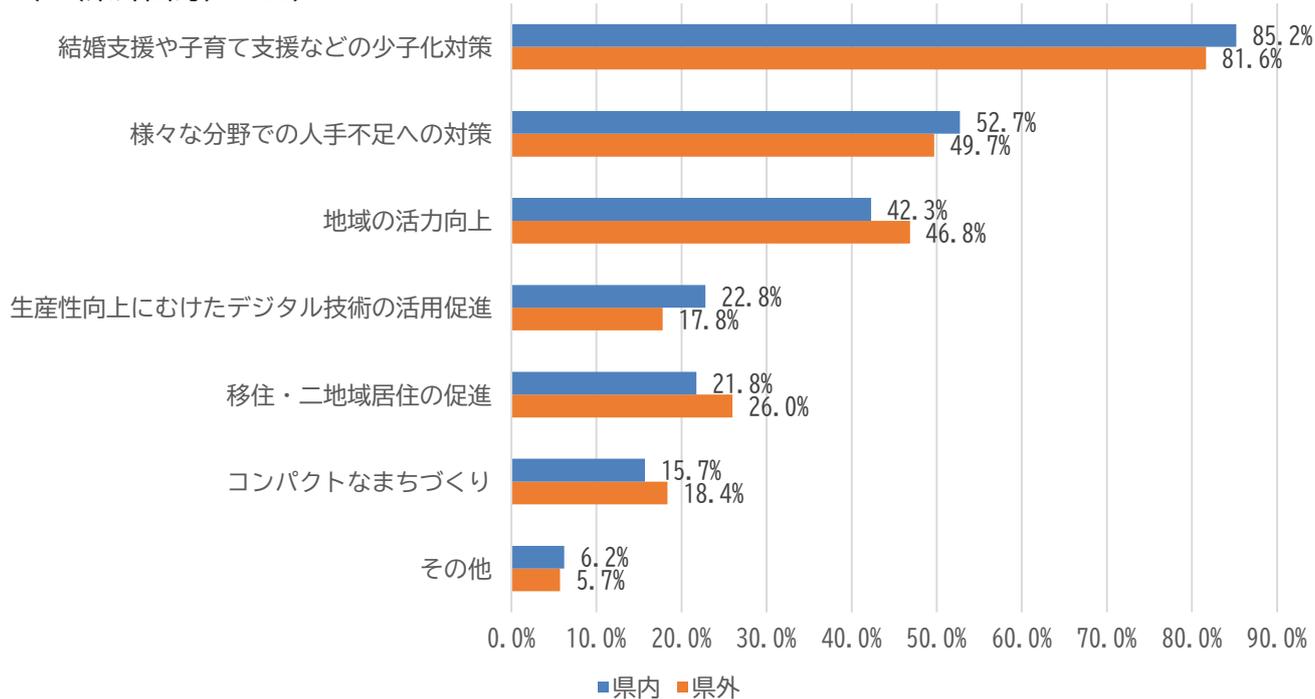
人口減少時代による影響については、「ややある」と回答した者が38.2%、「ある」と回答した者が32.0%となっており、大学生において問題意識はあるといえる。男女別にみると、男性で「ある」と回答した者の割合が女性と比べ多くなっている。



人口減少時代の中で必要だと思う対策については、「結婚支援や子育て支援などの少子化対策」、「様々な分野での人手不足への対策」、「地域の活力向上」が上位3位を占めている。なお、この傾向は、居住地別や出身地別で見たときも傾向は変わらない。



(n (県内出身) =662) 人口減少時代の中で必要だと思う対策 (出身地別)
 (n (県外出身) =523)



人口減少時代の中で必要だと思う対策について、結婚支援や子育て支援等の少子化対策が男女を通じて最も多い。なお、男性では、「様々な分野での人手不足への対策」と「地域の活力向上」がほぼ同じ割合である一方、女性では、「様々な分野での人手不足への対策」が「地域の活力向上」より多い割合で回答されているなど差がみられる。

(n (男性) =468) 人口減少時代の中で必要だと思う対策 (男女別)
 (n (女性) =674)

